

農林水産省補助事業 平成27年度新規就農・経営継承総合支援事業のうち
技術習得支援 3 指導者向け研修 (2)

明日の農業人を育成する、
指導者の皆様へ
農業メンター実践研修会
事業報告書



PASONA

農援隊

目次

第1章

農業メンター実践研修会の実施概要 …… p.3

事業の目的、検討委員会の開催、研修プログラム策定にあたっての重点方針、実施結果の概要(日程・会場・研修参加者数、研修参加者人数について、参加者アンケートの実施、参加者アンケートの結果より一部抜粋、成果の公表)、講師一覧

第2章

研修実施レポート …… p.11

研修のプログラム・ポイント、使用テキストより一部抜粋、研修において、受講者にとって重要と思われたポイントについて、研修の結果、得られたものについて、受講者の研修での様子について、気付いた点について、本研修に関して課題と今後の改善アイデア

第3章

参加者アンケート調査結果 …… p.19

第1章

農業メンター実践研修会の
実施概要



事業の目的

長年にわたり、農業の担い手不足の問題が取り沙汰される中、平成25年の新規就農者数は5万810人で、平成22年以降は5万人台で推移し、うち49歳以下の新規就農者数の推移は、平成20年から約1万8千～2万人の水準で推移しています。新規就農者について就農形態別にみると、新規自営農業就農者は平成22年以降1万人台、新規雇用就農者は農の雇用事業を開始した平成20年以降約6～7千人で推移、新規参入者は、青年就農給付金事業を開始した平成24年に2千人を超え、平成25年も同様の水準となっています。様々な施策の効果によって、継続した新規就農者数を保っています。

日本の農業において新規就農をする理由には「農業、農村の生活、自然や動物が好き」などの生き方としての理由と、「努力の結果が見える」「自らの判断で経営ができる」といったビジネスとしての魅力を感じる方々が多くいます。このように、新規就農に対する価値観や魅力は年々向上しているように思われます。一方、約3割の方が、生計の目処が立たないこと等から数年以内に離農し、青年新規就農者が基幹的農業従事者として定着するのは約1万人程度となっており、持続的で力強い農業構造を実現するためには、これを倍増することが求められています。

そのような状況の中、農業関係の学校・研修教育機関からの就農者は年間約2,500人で、そのうち、全国の道府県の農業大学校及び民間団体大学校(約46校)卒業からの就農が約1,000人と約50%を占めており、将来の地域農業のリーダーとなる就農者輩出の重要な中核農業経営者教育機関となっております。

反面、全国の道府県の農業大学校等では年間約2,000人が卒業しており、そのうちの約50%、約1,000人が就農という現状で、50%を100%(倍増)に近づけるような就農率を高める指導、及び、その後も継続して就農できるような定着率を高める指導が必要です。

また、農業大学校だけでなく、各県庁の農業大学校を管轄する担当者、担い手支援担当者、普及指導担当者など、まず入口から、就農したのちも継続してフォローをする各県庁及び出先機関の職員の方々においても、新規就農希望者、新規就農者等に対して、同様の指導が求められますし、新規就農者を受け入れている農業指導者、農業高校・農業系大学の指導従事者、民間のコンサルタント等の農業支援者等においても同様と考えます。

平成25・26年度新規就農・経営継承総合支援事業のうち技術習得支援について、受講期間中の受講者とのコミュニケーションで得たものを振り返ると、農業大学校などの地域の農業経営者育成の中核となる教育機関の指導従事者の現状・指導に関する問題点として、現状において各農業大学校で学生に対して様々なカリキュラムが組まれている中、新規就農希望者である学生とどのタイミングでどのように働きかけ、関わり、どう計画的に指導すべきかという、指導従事者側の学生との関わり方・指導の仕方の、まさにメンターとしての能力を向上させる機会は限られており、是非そのような機会を日々の指導に活かしたい意向があります。

つきましては、上記の背景・現状を踏まえ、新規就農希望者等の就農や新事業の創出等を支援する人材、具体的には農業大学校等の指導従事者、各県庁の農業大学校を管轄する担当者、担い手支援担当者、普及指導担当者、新規就農者を受け入れている農業指導者、農業高校・農業系大学の指導従事者等を対象として、メンターとしての能力を養成する研修会を開催しました。

本研修会・本事業の実施により、地域の農業経営者育成教育の中核となる教育機関の指導従事者等のメンターとしての能力の養成がなされ、それにより研修を受講者が支援する新規就農希望者等のモチベーションの向上を図り、就農率・就農定着率を高め、意欲ある農業者として育成し、将来の地域農業のリーダーとなる就農者・農業経営者の層を厚くし、持続的で力強い農業構造を全国各地で実現することに寄与されればと願っております。

検討委員会の開催

本事業を推進するにあたり、事業実施方針の検討や研修内容の検討、次年度以降の実施方針の策定を目的とし、検討委員会を設置開催した。

検討委員会については、農業分野における指導者養成に関する知見・ノウハウを有する、全国の農業の支援者、専門家、学識経験者等、様々な立場の有識者からなる組織とし、それぞれの意見により、目的達成のための効果的な研修内容とすべく評価・検討を行った。

【農業メンター実践研修会 検討委員】

委員名	所属
加藤 寛昭	食と農研究所 代表
権堂 千栄実	株式会社 Campanula 代表取締役
庄司 和弘	ホライズンコンサルティンググループ株式会社 代表取締役
四本 和臣	一般社団法人国際オーガニスト協会 理事長 (株式会社K3ロジスティクス 代表取締役)

(50音順)
(敬称略)

○第1回 検討委員会

日時:2015年6月14日(日)15時30分～17時30分

場所:パソナグループ本部ビル9階研修室C(〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-4)

議事:1.農業メンター実践研修会の事業概要について

(本事業の概要、研修実施日・研修実施地域・研修会場、研修プログラム概要)

2.農業メンター実践研修会の研修プログラムの内容について

3.農業メンター実践研修会の募集・広報ツールについて

○第2回 検討委員会

日時:2016年3月26日(土) 10:30～12:00

場所:パソナグループ本部ビル1階 エコラブカフェ(〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-4)

議事:1.農業メンター実践研修会の事業結果について

2.次年度以降に向けた実施方針について

研修プログラム策定にあたっての重点方針

第1回の検討委員会での結果を受け、研修プログラムについては下記の点を重点方針として設定した。

- ・研修の狙いとして、研修では、研修対象者で記載した、農業大学校等の指導従事者等、新規就農希望者等の就農や新事業の創出等を支援する人材を対象に、知識だけでなく、新規就農希望者等へ実際に支援する期間を設け農業メンターとして即活動できる支援スキルの習得・実践的な能力の醸成を目指した「農業メンター実践研修会」を実施する。

■養成研修

- ・メンター自身のリソースの確認。メンターのキャリアが雇用型、独立型、どちらの指導のほうがより効果を上げられるかを確認するための、知識・スキル・経験・人脈等を棚卸し
- ・雇用型・独立型の新規就農希望者が学ぶべきスキルのフェーズに合わせた、メンターとしての支援スキルと支援方法の演習を含めた習得
- ・メンティ(新規就農希望者)のフェーズ毎の習熟度チェックリストの作成
- ・受講者が具体的にイメージするメンティ(新規就農希望者)に合わせた計画的な支援カリキュラムの作成

■ブラッシュアップ研修

- ・養成研修で習得し得たことを現場で一定期間実践し、時期を改めて、現状報告、各自の課題・事例検討、どう改善すべきかのブラッシュアップの実施

■報告研修

- ・養成研修・ブラッシュアップ研修を経て、更なる支援改善を踏まえ再度現場で一定期間実践
- ・研修総括として農業メンターとして行った支援内容の報告と指導・支援したメンティの成果発表の実施
- ・上記の流れ内容にて、受講者の農業メンターとしての能力を養成しつつ、現場で実践できる形で落とし込み、支援する期間を設け、それらを現場で具体的なメンティに対して実践し、ブラッシュアップを重ね、最終的な報告研修を目標にしながら、農業メンターとしての実践的な能力をPDCAサイクルで醸成するという、受講者の指導の現場に即しつつ能力を経験化・技能化できる実践的な内容で研修を実施する。
- ・メンターとしての支援スキルと支援方法の知識・ノウハウの習得とともに、演習（セルフワーク、ペアワーク、グループワーク）により、メンターとしての支援の実践力を習得できるようにする。
- ・演習（ペアワーク、グループワーク）により、受講者同士の課題や実践方法、想定されるメンティの事例等の情報収集、研修における受講者同士の様々なアイデアを知れるようにし、また、受講者同士の広域に渡るネットワークが構築できるようにする。
- ・受講者に受講レポートを作成して貰い、感想や疑問点等を逐次確認・解決できるようにする。
- ・この研修の最終的な出口は二つで、ひとつは「学生の成長について、メンタリングという手法を使ってどう育成する」か、二つ目は、「自分自身がメンターになるのは自分のどこを成長させないといけない」のか、というイメージの醸成。
- ・今までの自己の経験・知識・技能、強み・弱みも含め、参加者自身の成長の源を再確認できるように先生たちからアドバイスをすることで、受講者も自身の指導の仕方を自覚できるようになるため、参加者のリソース（本来信頼されるに値するもの）の棚卸しが重要。
- ・今までメンターとしての指導・支援をしたことが無い人であれば、それを記録に残し見返せるツール（指導カリキュラム等）が必要。
- ・相手のことを知った上でないと人を動かせないという「人物像の把握の大切さ」に気付いてもらうことが重要。
- ・「良き指導者」「信頼される人」などメンターとしてどうあるべきか、何が足りないかを理解して一緒に勉強していくことも重要。
- ・全国の参加者の、参加に関わる負担を軽減し参加しやすくするため、全国4箇所計4回（北海道、関東（東北・関東・北陸・東海）、近畿（近畿・中国・四国）、九州（九州・沖縄） ※農政局所在県及びその周辺のアクセスを考慮した県）で養成研修を実施する。
- ・講師には、キャリアカウンセラーや大学講師として、且つ、農業分野及びメンターとなる人材の育成に関する知見・ノウハウを有し、新規就農希望者・新規就農者・農業経営者・他産業での経営コンサルティング・6次産業化プランナー等に対する研修をはじめとした支援実績も豊富な講師陣を活用する。

実施結果の概要

【日程・会場・研修参加者数】

研修 カテゴリー	日程	時間	開催地	研修会場名	研修会場住所	研修 参加 者数
養成研修	2015年9月17日(木)	9:30～17:30	近畿	パソナグループビル (大阪本社)	大阪市中央区淡路町 4-2-15	13
	2015年9月18日(金)	9:30～17:30				
養成研修	2015年10月1日(木)	9:30～17:30	北海道	TKP 札幌ビジネスセンター 赤れんが前	北海道札幌市中央区北 4 条 西 6 丁目 1 毎日札幌会館 5F	4
	2015年10月2日(金)	9:30～17:30				
養成研修	2015年10月8日(木)	9:30～17:30	九州 (九州・沖縄)	カンファレンスASC	福岡県福岡市博多区博多駅東 1-16-25 アスクビル	11
	2015年10月9日(金)	9:30～17:30				
養成研修	2015年10月15日(木)	9:30～17:30	関東 (東北・関東・北陸)	パソナグループ本部(東京本社)	東京都千代田区大手町 2-6-4	4
	2015年10月16日(金)	9:30～17:30				
ブラッシュ アップ研修 (1回目)	2015年11月19日(木)	9:30～17:30	関東 (東北・関東・北陸)	パソナグループ本部(東京本社)	東京都千代田区大手町 2-6-4	2
	2015年12月10日(木)	9:30～17:30	近畿	パソナグループビル(大阪本社)	大阪市中央区淡路町 4-2-15	3
ブラッシュ アップ研修 (2回目)	2015年12月17日(木)	9:00～17:00	関東 (東北・関東・北陸)	日本ビル	東京都千代田区大手町 2-6-2	1
	2016年1月21日(木)	9:30～17:30	近畿	パソナグループビル(大阪本社)	大阪市中央区淡路町 4-2-15	3
報告研修会	2016年2月26日(金)	9:30～17:30	関東 (東北・関東・北陸)	ビジョンセンター東京	東京都中央区八重洲 2-3-14 ケイアイ興産東京ビル	3
現地養成 研修	2016年2月16日(火)	9:30～17:30	中国	中国四国酪農大	岡山県真庭市 蒜山西茅部 632	7
	2016年2月17日(水)	9:30～17:30				
現地指導	2015年12月24日(木)	① 10:00～12:00 ② 13:00～15:00	九州	宮崎県立農業大	宮崎県児湯郡高鍋町 大字持田 5733	37
現地指導	2016年3月15日(火)	13:30～16:30	関東	山梨県立農業大	山梨県北杜市長坂町長坂上条3251	12
現地指導	2016年3月22日(火)	① 9:30～12:00 ② 13:00～16:30	中国	山口県立農業大	山口県防府市大字牟礼 318	30
参加合計人数						130

【研修参加者人数について】

本事業における研修の参加者は、参加者を派遣する農業大等校等の研修派遣予算・計画やスケジュールの確保の問題等から開催エリア毎の差は見られたものの、養成研修(全国4箇所計4回)、ブラッシュアップ研修(全国2箇所計4回)、報告研修(全国1箇所計1回)、現地指導(計3回)、現地養成研修(計1回)で、総計130名の参加が得られました。開催地毎の参加者数の詳細は上記の表のとおりとなります。

【参加者アンケートの実施】

本事業で実施した研修の効果確認を目的として研修参加者に対するアンケート調査を実施しました。

■調査対象者:各開催地の養成研修を2日間とも修了した対象者:32名

(内訳:農業大 11、農業高校 0、地域農業教育機関 2、自治体職員(農業関係) 12、

JA職員 0、地域農業支援団体 0、農業者 1、その他 6)

■調査方法:各開催地の養成研修毎、研修最終日(2日目)にアンケート票を配布し、回収しました。

■調査日:2015年9月18日(金)、2015年10月2日(金)、2015年10月9日(金)、2015年10月16日(金)

■回収数:30名(回収率:93.8%)アンケート調査の結果については、第3章19ページ以降にて整理を行いました。

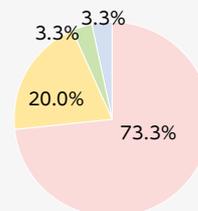
【参加者アンケートの結果より一部抜粋】

研修全体の満足度

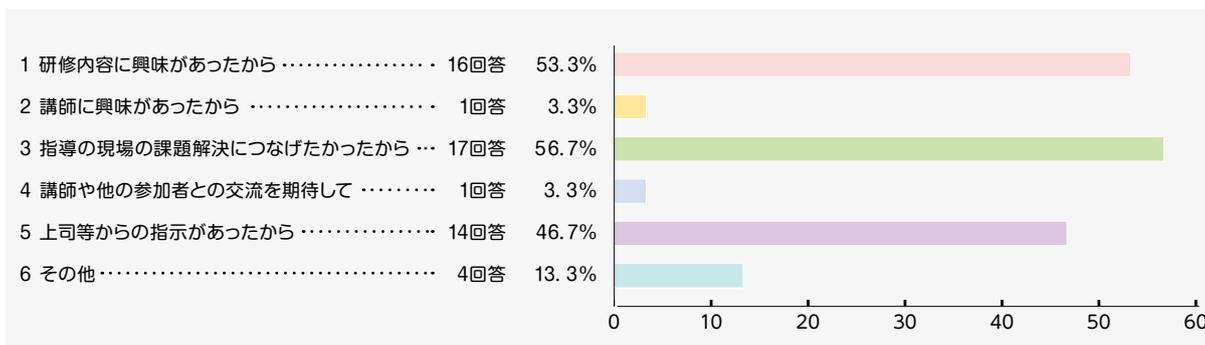
Q5-1	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	22	73.3
2: やや満足した	6	20.0
3: どちらともいえない	1	3.3
4: あまり満足していない	1	3.3
5: 満足していない	0	0.0

問5-1 ご参加いただいた研修を全体として評価した場合に当てはまるものを選択してください。

- 1: 大変満足した
- 2: やや満足した
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり満足していない
- 5: 満足していない



研修の参加動機

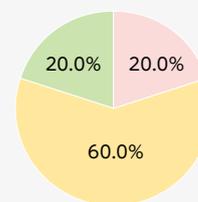


事業継続と社会コスト投入の意義

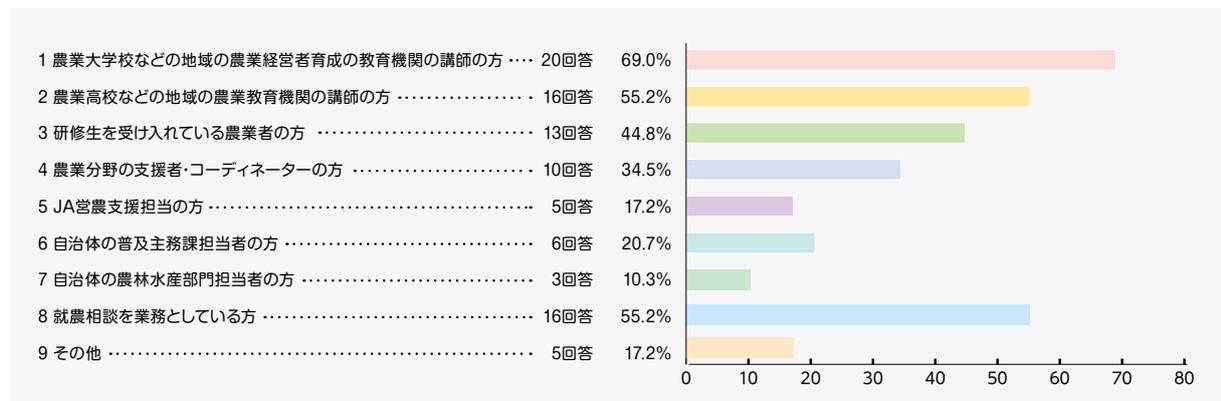
Q14	回答数	割合(%)
1: 大いに意義を感じる	6	20.0
2: 意義を感じる	18	60.0
3: どちらともいえない	6	20.0
4: 意義をあまり感じない	0	0.0
5: 意義はない (これだけの社会コストを投入してまで実施する必要はない)	0	0.0

問14 本事業が今後も実施される場合の社会コスト投入の意義について、お考えに当てはまるものを選択してください。

- 1: 大いに意義を感じる
- 2: 意義を感じる
- 3: どちらともいえない
- 4: 意義をあまり感じない
- 5: 意義はない (これだけの社会コストを投入してまで実施する必要はない)



本研修を受講すべきだと思う人材について



【成果の公表】

当該事業の実施結果として当該事業報告書を印刷し関係各所へ配布するとともに、弊社ホームページ (<http://www.pasona-nouentai.co.jp/>) に掲載を行う。

講師一覧

重点方針に則り、講師には、キャリアカウンセラーや大学講師として、且つ、農業分野及びメンターとなる人材の育成に関する知見・ノウハウを有し、新規就農希望者・新規就農者・農業経営者・他産業での経営コンサルティング・6次産業化プランナー等に対する研修をはじめとした支援実績も豊富な講師陣を活用しました。

※本講師陣は弊社にて実施した、平成24年度6次産業化人材育成研修会、平成25年度・平成26年度新規就農・経営継承総合支援事業のうち技術習得支援の講師でもあります。

講師名	プロフィール	対応日程・開催地域
ホライズンコンサルティング グループ株式会社 代表取締役 庄司 和弘 氏 	【資格・職位】 食の6次産業化プロデューサー レベル4 認定、キャリアカウンセラー（日本キャリア開発協会認定 CDA）、（社）日本経営士協会 経営士（経営部門登録）、農林水産省6次産業化ボランティアプランナー、食品需給研究センター認定食農連携コーディネーター、財団法人みやぎ産業振興機構登録専門家 【経歴】 6次産業化プランナー、食農連携コーディネーターとして、農林漁業者の所得向上を支援するため、経営課題抽出、経営分析、戦略立案など農業経営支援はもとより、各地域の資源を活用した 商品開発や産業連携、販売・生産計画の立案から販路開拓の支援等、6次産業化のアドバイザーとして全国で活躍。震災後は笑顔プロジェクト、お悩みネットを立上げ、パンナグループとも連携し 水産加工会社、直売所等多くの事業再開を支援しています。弊社において、農業分野の緊急雇用対策事業（新規就農希望者向け）、新規就農者・農業法人等の若手リーダー・農業経営者に対する研修など実績多数。農林水産省平成24年度 6次産業推進中央支援事業 6次産業化人材育成研修会（コーチング研修会）、平成25年度 6次産業化推進支援事業 全国推進事業 6次産業化中央サポート事業 6次産業化支援人材育成研修会等開催のうち民間企業等派遣研修会、平成25年度 新規就農・経営継承総合支援事業のうち技術習得支援 指導者向け研修（農業を目指す若者の心理等を踏まえた実践的対応手法研修会）、平成26年 新規就農・経営継承総合支援事業のうち技術習得支援 指導者向け研修（経営指導力向上研修会）の講師としても活躍。	【ブラッシュアップ研修】 2015年11月19日(木) 関東開催 2015年12月17日(木) 関東開催 【報告研修】 2016年2月26日(金) 関東開催 【現地指導】 2016年3月15日(火) 山梨県立 農業大学校開催

講師名	プロフィール	対応日程・開催地域
<p>一般社団法人国際オーガニスト協会 理事長 (株式会社K3ロジスティクス 代表取締役) 四本 和臣 氏</p> 	<p>【資格・職位】 6次産業化プランナー、有機JAS 主任審査員、ISO22000 審査員補、元・日本経済大学 非常勤講師、食品需給研究センター認定食農連携コーディネーター</p> <p>【経歴】 6次産業化コンサルタントとして九州・中国地域で6次産業化申請方法・事業計画策定支援等で活躍する傍ら有機JAS認定に関する指導員として、全国の農業生産者向けに有機JASの認証制度研修や事前コンサルティングで活躍中。また、経営課題抽出、経営分析、法人化支援(戦略立案)など農業経営支援でも活躍中。新規就農者・農業経営者向け研修など多くの農業に関する研修講師として活動するとともに、日本経済大学においてアグリベンチャーの立ち上げ等も指導。弊社において、農業分野の緊急雇用対策事業(新規就農希望者向け、新規就農者・農業法人や集落営農等の若手リーダー・農業経営者に対する研修など実績多数。農林水産省 平成24年度 6次産業推進中央支援事業 6次産業化人材育成研修会(コーチング研修会)、平成25年度 新規就農・経営継承総合支援事業のうち技術習得支援 指導者向け研修(農業を目指す若者の心理等を踏まえた実践的対応手法研修会)、平成26年 新規就農・経営継承総合支援事業のうち技術習得支援 指導者向け研修(経営指導力向上研修会)の講師としても活躍。</p>	<p>【養成研修】 2015年10月1日(木)～北海道開催</p> <p>2015年10月15日(木)～関東開催</p> <p>【報告研修】 2016年2月26日(金) 関東開催</p> <p>【現地指導】 2015年12月24日(木) 宮崎県立 農業大学校開催</p> <p>2016年3月22日(火) 山口県立 農業大学校開催</p>
<p>株式会社 Campanula 代表取締役 権堂 千栄実 氏</p> 	<p>【資格・職位】 キャリアカウンセラー(日本キャリア開発協会認定 CDA)、個人情報保護管理者(日本プライバシー協会認定 CPP)、マイクロソフト株式会社認定オフィシャルトレーナー(MOT)、日本経済大学 / 香蘭女子短期大学 非常勤講師</p> <p>【経歴】 宮城県石巻市出身、現在は福岡県に在住。事務職を経て、パソコンの普及と共にOAインストラクターという仕事に憧れ、OAインストラクターの資格を取得。「結婚」、「転勤」、「出産」と女性ならではの転機を迎え、自己葛藤しながらも周りの人々の温かい支えの元に、11年間OAインストラクターとしての仕事を続ける。2003年3月より大手通信企業の業務研修及び、接客マナー研修の講師になる。これを機にマナー講師としての活動も始める。大手通信企業の専任講師を担当する傍ら、2006年にキャリアカウンセラーCDAを取得。様々な企業からのマナー研修やコミュニケーション研修の講師、人事採用等の面接官、大学生向けの就職フェアでのキャリアカウンセラーなど、活動の幅を広げる。2007年11月に、某企業の副社長様より起業の勧めを受け2008年2月株式会社Campanulaを設立。キャリアカウンセラー歴7年、マナー講師歴9年、OAインストラクター歴13年。キャリア教育やマナー教育に関する研修を中心に研修事業や人材教育事業を展開している。弊社において、農業分野の緊急雇用対策事業(新規就農希望者向け)などの研修実績多数。農林水産省 平成24年度 6次産業推進中央支援事業 6次産業化人材育成研修会(コーチング研修会)、平成25年度 新規就農・経営継承総合支援事業のうち技術習得支援 指導者向け研修(農業を目指す若者の心理等を踏まえた実践的対応手法研修会)の講師としても活躍。</p>	<p>【養成研修】 2015年9月17日(木)～近畿開催</p> <p>2015年10月8日(木)～九州開催</p> <p>【ブラッシュアップ研修】 2015年12月10日(木) 近畿開催</p> <p>2016年1月21日(木) 近畿開催</p> <p>【報告研修】 2016年2月26日(金) 関東開催</p> <p>【現地養成研修】 2016年2月16日(火) 中国四国酪農大学校開催</p>

第2章

研修実施レポート



【研修のプログラム・ポイント】

<養成研修>

■ 1日目カリキュラム

時間	所要時間	テーマ	内容
9:30 ~ 10:30	60分	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局連絡、会場案内 ・研修の目的、タイムスケジュールの紹介 ・講師自己紹介 ・アイスブレイク：グループ内での自己紹介 (氏名、所属、参加目的、あなたが考える指導者像とは) ※参加者の考える指導者像とは何かを把握する
10:30 ~ 12:30	120分	メンターのリソースを把握	<ul style="list-style-type: none"> ・セルフワーク、グループワーク 成功事例&失敗事例(そのときあなたはどう思った?) 自分を知る(エゴグラムの実施) 長所&短所(指導をするときどう活用できる?) あなたの目指す師匠はいる?(何に憧れている?) キャリアの棚卸 (あなたが持っている知識・スキル・経験・人脈は?)
13:30 ~ 14:00	30分	メンター、メンタリングとは メンターの役割	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 メンター、メンタリングの定義を押さえ、メンティへの必要な支援とは何か、メンターの役割について
14:30 ~ 15:30	60分	新規就農希望者の農業に 従事するまでのプロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 新規就農の種類、新規就農の流れなど、新規就農希望者の農業に従事するまでのプロセス ・セルフワーク 自分の指導力が活かせるのは、雇用型・独立型? 自分のどのようところが指導に活かせる?
15:30 ~ 16:00	30分	メンターとしての支援スキル と支援方法①	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 新規就農希望者であるメンティが雇用型・独立型で学ぶべきこととその習得フェーズ、及び習得フェーズ毎に求められるメンターの支援スキル・手法を押さえる
16:00 ~ 17:30	90分	メンターとしての支援方法と 支援スキルの把握	<ul style="list-style-type: none"> ・講義(30分) メンターの支援スキル(カウンセリング、コーチングについてとその違い、語り、動機づけ等)、傾聴(傾聴とヒアリングの違いの体感)、承認、質問について簡単に ・セルフワーク(60分) メンティの特定 メンティとの現状は? (信頼関係が築けていることは? メンティを支援する上で、自分が取り組むことは?)

■ 2日目カリキュラム

時間	所要時間	テーマ	内容
9:30 ~ 10:30	60分	メンティの発表とメンターの 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・支援するメンティの発表 受講者が支援する人物像(就農タイプ、現状スキル、性格)を発表 ・メンターとして何ができ、支援スキルの不足分はどのように補うか、取り組みを発表させる(メンター資質の確認)
10:30 ~ 12:00	90分	メンティの習熟度 チェックリストの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・セルフワーク メンティ(新規就農希望者)の雇用型・独立型の現状を把握 次のフェーズへ進むために必要なスキルを把握するチェックリスト作成 ・同時にメンター自身が取り組むこともリスト化させる
12:00 ~ 12:30	30分	メンティの習熟度 チェックリストの発表	<ul style="list-style-type: none"> ・全体発表 セルフワークで作成したチェックリストの項目と自分の取り組みを発表 ・状況に応じて講師からアドバイス
13:30 ~ 15:00	90分	支援カリキュラムの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・セルフワーク チェックリストに掲げたスキルを、どのような行動で身に付けさせるか計画的に考える ・同様にメンター自身の取り組みについても計画的に考えさせる
15:00 ~ 16:30	90分	支援カリキュラムの発表	<ul style="list-style-type: none"> ・全体発表 セルフワークで作成した支援カリキュラムとメンターの取り組みの全体発表 ・状況に応じて講師からのアドバイス
16:30 ~ 17:30	60分	研修総括等	<ul style="list-style-type: none"> ・研修総括、質疑応答、レポート作成、事務局連絡

<ブラッシュアップ研修>

時間	所要時間	テーマ	内容
9:30～10:00	30分	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局連絡、会場案内 ・研修の目的、タイムスケジュールの紹介 ・講師自己紹介 ・アイスブレイク：グループ内での自己紹介（氏名、所属、今日まで取り組んできたことへの感想） <p>※前回の養成講座でチェックシートの作成やカリキュラムの作成ができなかった方を中心に、どのように支援をしてきたか発表させる。 この時点で、支援業務には相手のスキルチェックをするチェックシートとスキルを高める取り組みの計画表（カリキュラム）が重要であることを再認識させてください。</p>
10:00～11:00	60分	養成研修振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 養成研修の内容を今一度整理して振り返る（メンターの資質とは？指導する上で重視する内容とは？）
11:00～12:30	90分	現状報告	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク 養成研修受講後、指導の現場にてどのようにメンターとして支援を実践してきたか、グループワークにて現状を報告する
13:30～15:30	120分	各自の課題と事例検討、改善方法	<ul style="list-style-type: none"> ・講義&グループワーク 現状報告から見えてきた各自の課題をシェアし、それに対して、どのように改善すべきか、グループワークにてアイデアを出し合う。また、上記において、多くの受講者が抱える課題や支援するメンティを事例として講師により抽出し、改善策について講師を含めて検討を行う
15:30～17:00	90分	行動指針	<ul style="list-style-type: none"> ・講義&セルフワーク 本日のグループワークを踏まえて、メンターとして、再度現場に戻ってどう指導すべきか、講師よりスキル・手法・マインドのセット、及び、アドバイスをを行う。行動指針を見直し再度作成 ・前回チェックシートやカリキュラムの作成ができなかった人はここで作成することを旨とする
17:00～17:30	30分	研修総括等	<ul style="list-style-type: none"> ・研修総括、レポート作成、事務局連絡

<報告研修>

時間	所要時間	テーマ	内容
9:30～10:00	30分	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局連絡、会場案内 ・研修の目的、タイムスケジュールの紹介 ・講師、自己紹介 ・アイスブレイク、自己紹介（氏名、所属）
10:00～12:30	150分	メンター取組報告	<ul style="list-style-type: none"> ・全体ワーク 支援内容の報告・共有と指導したメンティの成果の発表
13:30～16:00	150分	メンター取組報告	<ul style="list-style-type: none"> ・全体ワーク 支援内容の報告・共有と指導したメンティの成果の発表（上記の続き）
16:00～17:00	60分	「農業メンター実践研修会」全体総括	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 本日の報告会の内容を含めた「農業メンター実践研修会」の全体的な総括を講師より行う
17:00～17:30	30分	最終レポート作成等	<ul style="list-style-type: none"> ・最終レポート作成、事務局連絡

【募集ツール】

フレッシュアップ研修

日本の農業は指導力に！

農業メンター実践研修会のご案内

参加費無料

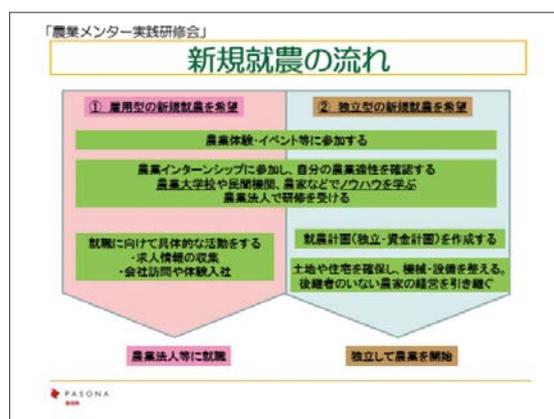
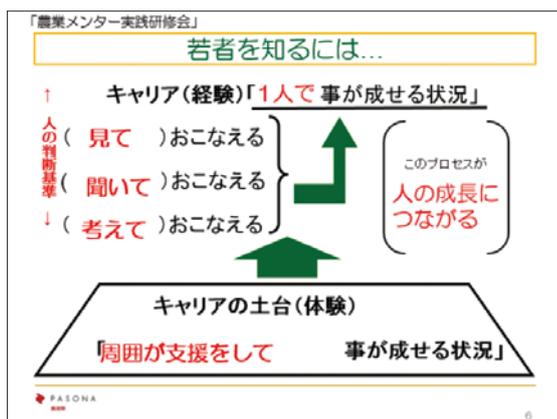
FAX: 03-6734-1269 / E-mail: agri@pasona-nouenta.jp

養成・ブラッシュアップ・報告・現地で徹底習得!

農業メンターになるための充実トレーニング!

参加費無料

【使用テキストより一部抜粋】



【使用テキストより一部抜粋】

「農業メンター実践研修会」

メンティの現状把握

・エゴグラム（性格分析）

自立状態	特徴
CP (Critical Parent) 厳しき父親	長所:責任感があり、真面目、曲がったことが嫌い、秩序を守り、メンターの存在。 短所:人に対して厳し、融通が利かず、支配的、独断的な行動をする。
NP (Nurturing Parent) 優しき母親	長所:他人に対して思いやりがある。 短所:相手のために、人に尽くすことが好き、相手の言いつけを、押し付けがましい、相手の手を甘やかしたり、過保護にあつかわ。
A (Adult) 大人	長所:感情に支配されず、状況判断の出来る客観的に判断の出来る、現実的、情報収集や分析に長けている。 短所:感情を表現しづらく、人情より事実が優先冷静・沈着、機敏的で計算的。
FC (Free Child) 自由奔放な子供	長所:明朗快活、創造力、空想力に富む。 ユーモアのセンスがある、好奇心旺盛。 短所:先まぐず、わがまま、自己中心の嗜好、争い、喧嘩、感情的。
AC (Adapted Child) 従順な子供	長所:協調性、柔軟性がある。他人との妥協点を見つめることができる。情熱派。 短所:主体性がなく、優柔不断、依存性が強い、我慢強く、忍耐力がある分、ストレスを溜めやすい。

FASONA 10

「農業メンター実践研修会」

モチベーション管理

■ 行動のピラミッドを構成する要素

行動の世界
感情の世界

FASONA 22

「農業メンター実践研修会」

メンティの習熟度チェックリスト作成

【監視対象の習得スキル】

FASONA 41

「農業メンター実践研修会」

育成カリキュラムの作成方法

1. 仕事を通して身に付けさせたい、覚えてほしいことは何か？
2. 一連の作業の中で、簡単にできる仕事は何か？
3. 仕事はどれくらいの期間で、どの程度のボリュームを与えるか？
4. その仕事がどのような状況になったら、次の仕事に進ませるか？

段階的な仕事の割り振りをします。
仕事を通してメンティが成長できるステップを考えます。

FASONA 45

メンターに必要なスキル

FASONA

大切な人材は？あなたです！

従業員満足度の高い会社は業績が上がり顧客満足度も高くなる。また離職率も低い会社になる社会に貢献できる会社になる
学校も同様先生の満足度が高い学校に生徒は集まるが、先生の満足度とは何でしょう？

従業員に不満があると企業は発展しない。また顧客の満足度も低く、品質の確保もむづかしくなる。さて先生の不満どうすれば解決できるか。

FASONA

【研修において、受講者にとって 重要と思われたポイントについて】

■メンティとの関わり方。大学関係者の方は「農業はやりたくない」と話す学生にどう指導していけばいいか悩むと話されていた。また、指導員の方は、研修生として就農に向けて準備している方だが、うつ傾向にあり、気持ちのバランスを取るのに難しい方や、自己肯定感が強く、他人の意見を聞き入れない研修生にどのように対応すべきかという具体的な関わり方の質問が多かったです。知識を習得させる、技能を高めさせる以前に、取り組み方、人との関わり方に関しての関心度が高く、この点に関する講義内容が参考になったようだった。

■メンターの技術的な事だけではなく、精神的な事や信頼を得るためにしなければいけないスキル UP についても学ぶ必要がある、メンティに本心から相談してもらえるメンターとしての在り方の造成、農業大学の教員としてカリキュラムを指導するだけの現状から生徒に寄り添ったより具体的かつ生徒一人一人にあった指導方法を見直す必要があることに気付くことが重要。

【研修の結果、得られたものについて】

■エゴグラムの活用と質問テクニック。メンティの現状把握(性格、価値観、過去のキャリア、知識、技能の習熟度)が行えていない方が多数だった。この部分の把握ができていないことで、カリキュラムの作成や評価が行えないと気が付かれた方が多かった。エゴグラムや、傾聴、質問テクニックが今後の取り組みに活用できるとのことだった。

■メンターとしての心構え。自分自身の魅力を知る事。メンティへの接し方。コミュニケーション能力。スキル UP の方向性。

■受講者一人一人の課題を全員で討議しながら解決の方法とさらに受講者自身がスキル UP するために必要な学ぶべきことを確認できた。

■ブラッシュアップ研修において、(養成研修で学んだ) エゴグラムを実際に指導の場で実践し、メンティのイメージが変わったこと、日々の言動や変化に対して悩まなくなったなどの話が受講者から聞けた。養成研修で学んだことを実際に取り組んでいる方は、ある程度の成果が出ているようだった。反面、メンティが独立就農を希望しているが、メンターとしては本人の性格や今あるメンティのビジネススキルからすれば雇用型の就農が良いと考えるとといったケースの場合はどのように支援したら良いか別の悩みが生じたとのこと。

■宮崎県立農業大学校においては、農業メンター研修や若者心理研修で得たノウハウを実際の授業に取り入れて大きな成果を上げたという報告があった。次年度においてはさらに授業の内容について内容の充実を図り成果を上げるとともに、このような指導者向け研修を実施し、教員



のスキルUPを図りたいという意見が出た。

(宮崎農大では平成28年度の「経営」の授業15コマにおいて、半数程度をメンター等の授業にし、本事業の農業メンター実践研修会の対応講師が登壇することになっている。)

■本研修に参加された方で、当初お会いしたときに「指導の成果が出ないのは生徒のモチベーションが低いから」と考えていた方が最終的に「生徒のモチベーションを下げていたのは自分の指導の仕方だった。メンター研修で接し方を学び自分なりに工夫をした。まったく理解できなかったメンティの事が理解できるようになり、就農へ導くことができた。本当に安堵した。」と話されていた。この言葉に、今回の研修の良さが表されていると感じた。今回のような研修は多くの指導者が希望していると思うので、是非継続して支援をしていきたい。特に今後の農業業界を支える若手指導者の育成が必要不可欠であるが、そのような方ほど現場を離れられない現状がある。是非一人でも多くの若手指導者が今回のような研修を受講することを願う。



【受講者の研修での様子について】

■講義に関しては熱心に聴いており、グループワークに関しては積極的に参加していた。メンティが想定できている方は「モチベーションを上げるにはどう関わればよいか?」「このようなカリキュラムを作成してみたが、効果的か?」などと具体的な質問が多く、関心の高さが伺えた。

■非常によくコミュニケーションが取れ情報交換や今後の学校同士の連携案など非常に積極的に交流されていた。

■参加者は少数だったが、その分深い研修と関わりを行うことができ、受講者も満足度が高かったよう。

■セミナー開始時点では参加者の温度差があり積極的に参加したわけではない方もいたが、最終的には非常に前向きな姿勢で修了されていた。

■実際の悩みを共有し、有意義な学びの場であった。



【気付いた点について】

■大学の先生、指導員の方々は本当に日々悩みと不安を抱えながら業務に当たっていることがグループワークの質問や内容から伝わってきた。ある農大の先生は「私たちは本当に農業しか知らないのだから、人を育てるとか、指導をするとかの手法は学んでいない。それでも昔は生徒のやる気でなんとかなっていたが、今、農業に興味がないとか農業はしたくないという生徒をどう農業に向き合わせ、就農に向かわせるかが本当に難しい。特に年間の作業スケジュールや少ない教員の中で関われることに限りがある。本当に試行錯誤です。」というお話がありました。一般大学でも一般の授業とは別にキャリアに関するガイダンスや講座が設

けられているので、農大もそのような個別支援の体制を取る必要があるのではないかと感じた。

■農業大学校の2年間という短い研修期間の中で、課題のあるメンティをどう支援していくのか非常に悩ましいと話していた。メンティの支援方法をブラッシュアップすると、新たな課題や問題が生じ、それは、一個人や団体の中では解決できない問題が多いよう。新規就農者を定着させるには、まだまだ多くの課題が存在しており、少しでもその解決の一翼が担え、メンターの方々のご支援につながればと思った。

■研修を通じて痛感したことは、指導者（農業大学校等の職員、普及指導センターの指導員等）は学びの機会を欲していること。参加者の声として「農作業や酪農の仕事の都合で、参加したくても参加できない」「非農家や就農を希望しない農大生を農業業界に導くことに苦労している」「従来の指導が全く通じない。昔と比べて指導対象者の意識やスキルが変化しているが、指導する側が変化できていない。今回の研修は今後の現場指導で大いに役立つと感じた」など、日々対応に悩みを抱えていた。



【本研修に関して課題と

今後の改善アイデア】

■講義よりもグループワークやペアワークを多く取り入れ、実践的な研修を心掛け、ご参加の皆様からは好評価を頂いた。特に農業大学校の学生に対する支援と、すでに就農した方の支援者とフェーズが異なる方が混在した討論では、双方の現状を把握するのに非常に有益であったとお言葉を頂いた。反面、もっとペアワークやグループワークでの討論の回数や討論時間を増やしてほしいという声も聞かれた。現場に持ち替えられるようにさらに実践的なスキルを高める内容を多く取り入れると良いと思った。

■参加人数の少ない時にワークなどで時間が余る可能性があるため、人数に応じてセミナーのカリキュラムを変更できるような準備をする必要がある。

■受講者が本当の意味でメンターを理解し、教育の現場に活かすためにはもう少し基本的な考え方をしっかり理解させる作り込みも必要に思う。



第3章

参加者アンケート調査結果



本事業で実施した農業メンター実践研修会の成果を把握するため、参加者アンケートを実施しました。その結果を第3章にて示します。

参加者アンケートの実施概要

【アンケート実施の狙い】

本研修の狙いとして掲げた、「研修対象者で記載した、農業大学校等の指導従事者等、新規就農希望者等の就農や新事業の創出等を支援する人材を対象に、知識だけでなく、新規就農希望者等へ実際に支援する期間を設け農業メンターとして即活動できる支援スキルの習得・実践的な能力の醸成を目指した「農業メンター実践研修会」を実施する。

(養成研修)

- ・メンター自身のリソースの確認。メンターのキャリアが雇用型、独立型、どちらの指導のほうがより効果を上げられるかを確認するための、知識・スキル・経験・人脈等を棚卸し
- ・雇用型・独立型の新規就農希望者が学ぶべきスキルのフェーズに合わせた、メンターとしての支援スキルと支援方法の演習を含めた習得
- ・メンティ(新規就農希望者)のフェーズ毎の習熟度チェックリストの作成
- ・受講者が具体的にイメージするメンティ(新規就農希望者)に合わせた計画的な支援カリキュラムの作成

(ブラッシュアップ研修)

- ・養成研修で習得し得たことを現場で一定期間実践し、時期を改めて、現状報告、各自の課題・事例検討、どう改善すべきかのブラッシュアップの実施

(報告研修)

- ・養成研修・ブラッシュアップ研修を経て、更なる支援改善を踏まえ再度現場で一定期間実践
- ・研修総括として農業メンターとして行った支援内容の報告と指導・支援したメンティの成果発表の実施

上記の流れ内容にて、受講者の農業メンターとしての能力を養成しつつ、現場で実践できる形で落とし込み、支援する期間を設け、それらを現場で具体的なメンティに対して実践し、ブラッシュアップを重ね、最終的な報告研修を目標にしながら、農業メンターとしての実践的な能力をPDCAサイクルで醸成するという、受講者の指導の現場に即しつつ能力を経験化・技能化できる実践的な内容で研修を実施する」ことに対し、参加者全員に対するアンケート調査を実施しました。

その結果を示します。

【調査対象・方法等の概要】

■調査対象者：各開催地の養成研修を2日間とも修了した対象者：32名

(内訳：農業大学校 11、農業高 0、地域農業教育機関 2、自治体職員(農業関係) 12、JA 職員 0、地域農業支援団体 0、農業者 1、その他 6)

■調査方法：各開催地の養成研修毎、研修最終日(2日目)にアンケート票を配布し、回収しました。

■調査日：2015年9月18日(金)、2015年10月2日(金)、2015年10月9日(金)、2015年10月16日(金)

■回収数：30名(回収率: 93.8%)

平成27年度 新規就農・経営継承総合支援事業のうち技術習得支援3
指導者向け研修(2)

農水省・農業メンター実践研修会 最終日アンケート

アンケート回収件数

30件

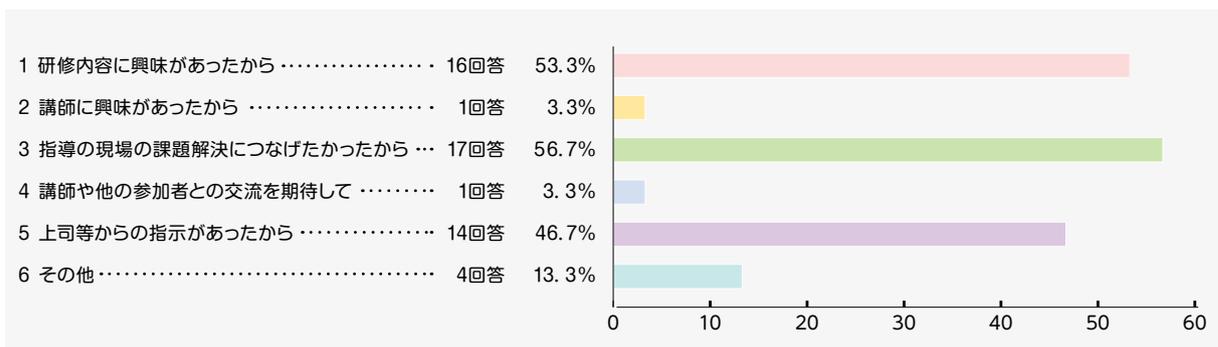
研修期間・実施場所

日程	会場	回収件数
2015年9月17日(木)・18日(金)	大阪会場	12件
2015年10月1日(木)・2日(金)	札幌会場	4件
2015年10月8日(木)・9日(金)	福岡会場	10件
2015年10月15日(木)・16日(金)	東京会場	4件
計		30件

【研修参加の目的や実施時期・期間】

問1 研修に参加された動機は何ですか。(複数回答可：3つまで)

<全体>



(理由・コメント)

6 その他 4回答

- 補助事業の要件のため
- 事実上、研修受講要件があったため
- 国庫事業の要件だったので
- 国庫事業で受講しなければならなかったため

<会場別>

2015年9月17日(木)・18日(金) 大阪会場

Q1	回答数	割合(%)
1: 研修内容に興味があったから	8	66.7
2: 講師に興味があったから	0	0.0
3: 指導の現場の課題解決につなげたかったから	9	75.0
4: 講師や他の参加者との交流を期待して	0	0.0
5: 上司等からの指示があったから	3	25.0
6: その他	2	16.7

2015年10月1日(木)・2日(金) 札幌会場

Q1	回答数	割合(%)
1: 研修内容に興味があったから	1	25.0
2: 講師に興味があったから	0	0.0
3: 指導の現場の課題解決につなげたかったから	1	25.0
4: 講師や他の参加者との交流を期待して	0	0.0
5: 上司等からの指示があったから	3	75.0
6: その他	0	0.0

2015年10月8日(木)・9日(金) 福岡会場

Q1	回答数	割合(%)
1: 研修内容に興味があったから	5	50.0
2: 講師に興味があったから	0	0.0
3: 指導の現場の課題解決につなげたかったから	5	50.0
4: 講師や他の参加者との交流を期待して	1	10.0
5: 上司等からの指示があったから	7	70.0
6: その他	1	10.0

2015年10月15日(木)・16日(金) 東京会場

Q1	回答数	割合(%)
1: 研修内容に興味があったから	2	50.0
2: 講師に興味があったから	1	25.0
3: 指導の現場の課題解決につなげたかったから	2	50.0
4: 講師や他の参加者との交流を期待して	0	0.0
5: 上司等からの指示があったから	1	25.0
6: その他	1	25.0

【研修参加の目的や実施時期・期間】

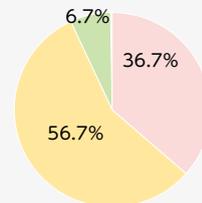
問2 実施時期はいかがでしたか。

<全体>

Q2	回答数	割合(%)
1: もっと早い時期がよい	11	36.7
2: ちょうどよい	17	56.7
3: もっと遅い時期がよい	2	6.7

問2 実施時期はいかがでしたか。

- 1: もっと早い時期がよい
- 2: ちょうどよい
- 3: もっと遅い時期がよい



<会場別>

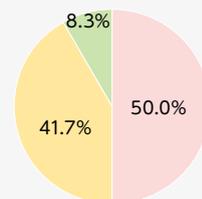
2015年9月17日(木)・18日(金) 大阪会場

問2 実施時期はいかがでしたか。

Q2	回答数	割合(%)
1: もっと早い時期がよい	6	50.0
		全国平均 36.7%
2: ちょうどよい	5	41.7
		全国平均 56.7%
3: もっと遅い時期がよい	1	8.3
		全国平均 6.7%

問2 実施時期はいかがでしたか。

- 1: もっと早い時期がよい
- 2: ちょうどよい
- 3: もっと遅い時期がよい



問3-1 実施時期はいつ頃がご希望でしょうか。(有効回答 8)

1. 6月 (回答2)
2. 農閑期
3. 8月 または 11~3月
4. 6月または2月
5. 5~6月
6. 7~8月頃
7. 4~5月

問3-2 実施時期で、参加が難しい時期はいつ頃でしょうか。(有効回答 10)

1. 年度末 (回答2)
2. 秋
3. 9・10月
4. 3・4月
5. 8~10月
6. 4~5月、8月、2~3月
7. 2~3月
8. 10~12月頃、3~5月頃
9. 12~3月

2015年10月1日(木)・2日(金) 札幌会場

問2 実施時期はいかがでしたか。

Q2	回答数	割合(%)
1: もっと早い時期がよい	0	0.0
	全国平均 36.7%	
2: ちょうどよい	4	100.0
	全国平均 56.7%	
3: もっと遅い時期がよい	0	0.0
	全国平均 6.7%	



問3-1 実施時期はいつ頃がご希望でしょうか。(有効回答 3)

1. 月末・月初はずれているとうれしい
2. 10月上旬~中旬
3. 10月

問3-2 実施時期で、参加が難しい時期はいつ頃でしょうか。(有効回答 4)

1. 期初だったのが辛かった
2. 11月中旬~3月
3. 7~8月、3~4月
4. 4~9月

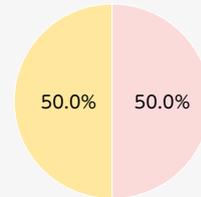
2015年10月8日(木)・9日(金) 福岡会場

問2 実施時期はいかがでしたか。

Q2	回答数	割合(%)
1: もっと早い時期がよい	5	50.0
	全国平均 36.7%	
2: ちょうどよい	5	50.0
	全国平均 56.7%	
3: もっと遅い時期がよい	0	0.0
	全国平均 6.7%	

問2 実施時期はいかがでしたか。

- 1: もっと早い時期がよい
- 2: ちょうどよい
- 3: もっと遅い時期がよい

**問3-1 実施時期はいつ頃がご希望でしょうか。(有効回答 7)**

1. 10月上旬 (回答3)
2. 農大が夏休みの間なら授業がないので出張しやすい。7月下旬から8月末
3. 8月頃
4. 7・8月頃
5. 5～6月

問3-2 実施時期で、参加が難しい時期はいつ頃でしょうか。(有効回答 7)

1. 3～4月 (回答2)
2. 授業のあるとき (夏休み・冬休み以外)
3. 12月・3月
4. 9月・11月・12月
5. 1～3月・4月
6. 4～8月

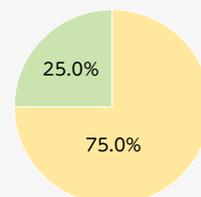
2015年10月15日(木)・16日(金) 東京会場

問2 実施時期はいかがでしたか。

Q2	回答数	割合(%)
1: もっと早い時期がよい	0	0.0
	全国平均 36.7%	
2: ちょうどよい	3	75.0
	全国平均 56.7%	
3: もっと遅い時期がよい	1	25.0
	全国平均 6.7%	

問2 実施時期はいかがでしたか。

- 1: もっと早い時期がよい
- 2: ちょうどよい
- 3: もっと遅い時期がよい

**問3-1 実施時期はいつ頃がご希望でしょうか。(有効回答 1)**

1. 12～2月

問3-2 実施時期で、参加が難しい時期はいつ頃でしょうか。(有効回答 2)

1. 年末年始・確定申告の時期
2. 4～8月

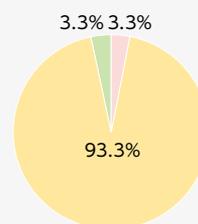
【研修参加の目的や実施時期・期間】

問4 実施期間(2日間)はいかがでしたか。

Q4	回答数	割合(%)
1: 短かった	1	3.3
2: ちょうどよい	28	93.3
3: 長かった	1	3.3

問4 実施期間(2日間)はいかがでしたか。

- 1: 短かった
- 2: ちょうどよい
- 3: 長かった



<追記意見>

(回答2の方)

1. 3日くらいかけても良い内容だと思うが、職場を3日間空けるには準備が大変になる

【研修の実施体制等の評価】

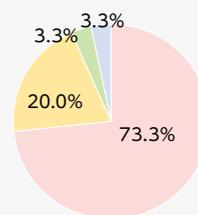
問5-1 ご参加いただいた研修を全体として評価した場合に当てはまるものを選択してください。

<全体>

Q5-1	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	22	73.3
2: やや満足した	6	20.0
3: どちらともいえない	1	3.3
4: あまり満足していない	1	3.3
5: 満足していない	0	0.0

問5-1 ご参加いただいた研修を全体として評価した場合に当てはまるものを選択してください。

- 1: 大変満足した
- 2: やや満足した
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり満足していない
- 5: 満足していない



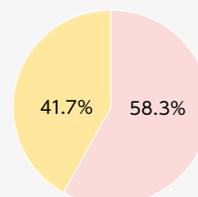
<会場別>

2015年9月17日(木)・18日(金) 大阪会場

Q5-1	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	7	58.3
2: やや満足した	5	41.7
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまり満足していない	0	0.0
5: 満足していない	0	0.0

問5-1 ご参加いただいた研修を全体として評価した場合に当てはまるものを選択してください。

- 1: 大変満足した
- 2: やや満足した
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり満足していない
- 5: 満足していない

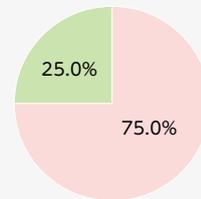


2015年10月1日(木)・2日(金) 札幌会場

Q5-1	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	3	75.0
2: やや満足した	0	0.0
3: どちらともいえない	1	25.0
4: あまり満足していない	0	0.0
5: 満足していない	0	0.0

問5-1 ご参加いただいた研修を全体として評価した場合に当てはまるものを選択してください。

- 1: 大変満足した
- 2: やや満足した
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり満足していない
- 5: 満足していない

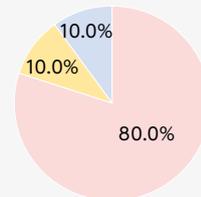


2015年10月8日(木)・9日(金) 福岡会場

Q5-1	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	8	80.0
2: やや満足した	1	10.0
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまり満足していない	1	10.0
5: 満足していない	0	0.0

問5-1 ご参加いただいた研修を全体として評価した場合に当てはまるものを選択してください。

- 1: 大変満足した
- 2: やや満足した
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり満足していない
- 5: 満足していない

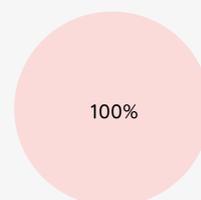


2015年10月15日(木)・16日(金) 東京会場

Q5-1	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	4	100.0
2: やや満足した	0	0.0
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまり満足していない	0	0.0
5: 満足していない	0	0.0

問5-1 ご参加いただいた研修を全体として評価した場合に当てはまるものを選択してください。

- 1: 大変満足した
- 2: やや満足した
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり満足していない
- 5: 満足していない



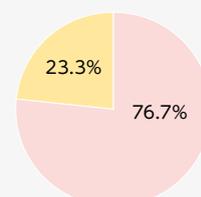
問5-2 講師の対応について当てはまるものを選択してください。

<全体>

Q5-2	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	23	76.7
2: やや満足した	7	23.3
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまり満足していない	0	0.0
5: 満足していない	0	0.0

問5-2 講師の対応について当てはまるものを選択してください。

- 1: 大変満足した
- 2: やや満足した
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり満足していない
- 5: 満足していない



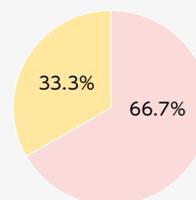
<会場別>

2015年9月17日(木)・18日(金) 大阪会場

Q5-2	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	8	66.7
2: やや満足した	4	33.3
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまり満足していない	0	0.0
5: 満足していない	0	0.0

問 5-2 講師の対応について当てはまるものを選択してください。

- 1: 大変満足した
- 2: やや満足した
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり満足していない
- 5: 満足していない

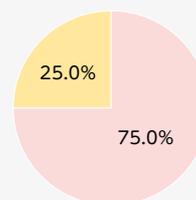


2015年10月1日(木)・2日(金) 札幌会場

Q5-2	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	3	75.0
2: やや満足した	1	25.0
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまり満足していない	0	0.0
5: 満足していない	0	0.0

問 5-2 講師の対応について当てはまるものを選択してください。

- 1: 大変満足した
- 2: やや満足した
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり満足していない
- 5: 満足していない

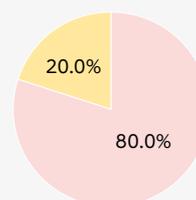


2015年10月8日(木)・9日(金) 福岡会場

Q5-2	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	8	80.0
2: やや満足した	2	20.0
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまり満足していない	0	0.0
5: 満足していない	0	0.0

問 5-2 講師の対応について当てはまるものを選択してください。

- 1: 大変満足した
- 2: やや満足した
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり満足していない
- 5: 満足していない

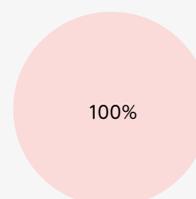


2015年10月15日(木)・16日(金) 東京会場

Q5-2	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	4	100.0
2: やや満足した	0	0.0
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまり満足していない	0	0.0
5: 満足していない	0	0.0

問 5-2 講師の対応について当てはまるものを選択してください。

- 1: 大変満足した
- 2: やや満足した
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり満足していない
- 5: 満足していない



(理由・コメント)

(大阪会場 / 回答7)

1. 分かりやすい講義でした。
2. 質問に対して誠意をもって対応してくれた。
3. 自分自身のスキル不足に対する「気付き」を与えてくれた研修でした。
4. 多くの事例を交えた説明で分かりやすかった。発表にも丁寧コメントをいただいた。
5. カウンセラーとして適切なアドバイス等、状況に応じてしていただいた。
6. これまでしてきたことが確認でき、さらに改良のポイントが見つかった。
7. 実践的で分かりやすかった。

(札幌会場 / 回答2)

1. おしげもなく色々事例を話して下さり感謝です。
2. 自分が説明したところを、ポイントおさえてアドバイスいただきました。事例も多くよかったです。

(福岡会場 / 回答7)

1. 具体的な対応法を教えてくださいました。
2. 事例を交えての説明であったので、イメージしやすかったです。
3. 質問に丁寧に答えてくれた。
4. 直接、就労支援にかかわっていないが、具体的事例の話も多く理解は出来た。
5. 農大の先生、新規就農の業務が中心の人にふさわしい研修内容だった。参考なる部分もあった。講師の話は事例が多く専門的な事も分かりやすい。
6. 大変分かりやすく、現場に持ち帰って、すぐに対応出来そうだったから。
7. 話がとても聞きやすく、面白かったです。

(東京会場 / 回答4)

1. 一流とは何かというのを胸が痛くなるほど、教えていただきました。
2. 新しいことに気付き学ぶことが出来た。
3. メンターとしての内面について、何度も話してくれたので、メンターのイメージが明確になった。
4. 四木先生の講義、大変分かりやすかった。少人数がとても良かった。

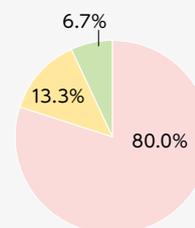
問5-3 事務局の対応について当てはまるものを選択してください。

<全体>

Q5-3	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	24	80.0
2: やや満足した	4	13.3
3: どちらともいえない	2	6.7
4: あまり満足していない	0	0.0
5: 満足していない	0	0.0

問5-3 事務局の対応について当てはまるものを選択してください。

- 1: 大変満足した
- 2: やや満足した
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり満足していない
- 5: 満足していない

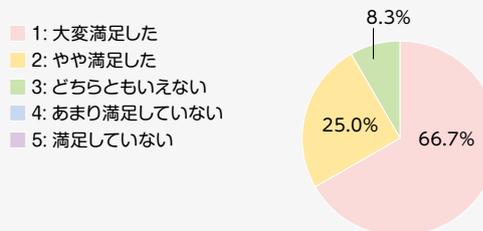


<会場別>

2015年9月17日(木)・18日(金) 大阪会場

Q5-3	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	8	66.7
2: やや満足した	3	25.0
3: どちらともいえない	1	8.3
4: あまり満足していない	0	0.0
5: 満足していない	0	0.0

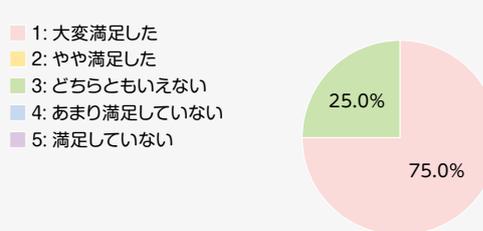
問 5-3 事務局の対応について当てはまるものを選択してください。



2015年10月1日(木)・2日(金) 札幌会場

Q5-3	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	3	75.0
2: やや満足した	0	0.0
3: どちらともいえない	1	25.0
4: あまり満足していない	0	0.0
5: 満足していない	0	0.0

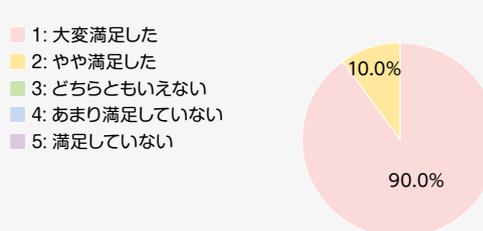
問 5-3 事務局の対応について当てはまるものを選択してください。



2015年10月8日(木)・9日(金) 福岡会場

Q5-3	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	9	90.0
2: やや満足した	1	10.0
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまり満足していない	0	0.0
5: 満足していない	0	0.0

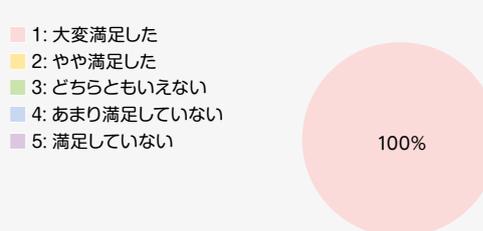
問 5-3 事務局の対応について当てはまるものを選択してください。



2015年10月15日(木)・16日(金) 東京会場

Q5-3	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	4	100.0
2: やや満足した	0	0.0
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまり満足していない	0	0.0
5: 満足していない	0	0.0

問 5-3 講師の対応について当てはまるものを選択してください。



(理由・コメント)

(大阪会場 / 回答 2)

1. 隣室の会議が気になる時があった。
2. 適切に対応いただいた。

(札幌会場 / 回答 1)

1. 問い合わせも迅速に対応いただいた。研修中も参加してもらって、ある意味、新鮮でした。

(福岡会場 / 回答 7)

1. 懇親会のお世話までしていただきありがとうございました。お疲れ様でした。
2. 1回目・2回目の場所の違いへの対応。2回目は人が異なるというイレギュラーな対応をしていただきました。
3. 毎日席替えがあり、研修生の交流が進むように配慮があってよかったと思います。
4. 準備等大変だったと思います。ありがとうございました。
5. 連絡や案内、当日の連絡など十分。募集チラシは小さくて見にくい部分や分かりにくい言葉があった
6. お世話になりました。
7. 電話対応が良かったです。

(東京会場 / 回答 2)

1. とても丁寧・親切で、大企業のスゴさを感じました。
2. 親切であった。

【研修の実践内容の評価】

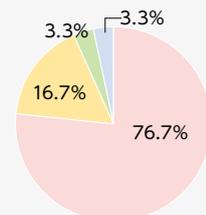
問6 ご参加いただいた研修の実践内容について、当てはまるものを選択してください。

<全体>

Q6	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	23	76.7
2: やや満足した	5	16.7
3: どちらともいえない	1	3.3
4: あまり満足していない	1	3.3
5: 満足していない	0	0.0

問6 ご参加いただいた研修の実践内容について、当てはまるものを選択してください。

- 1: 大変満足した
- 2: やや満足した
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり満足していない
- 5: 満足していない



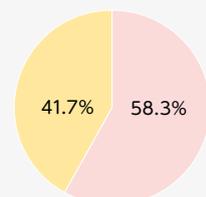
<会場別>

2015年9月17日(木)・18日(金) 大阪会場

Q6	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	7	58.3
2: やや満足した	5	41.7
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまり満足していない	0	0.0
5: 満足していない	0	0.0

問6 ご参加いただいた研修の実践内容について、当てはまるものを選択してください。

- 1: 大変満足した
- 2: やや満足した
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり満足していない
- 5: 満足していない

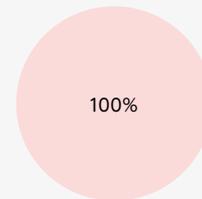


2015年10月1日(木)・2日(金) 札幌会場

Q6	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	4	100.0
2: やや満足した	0	0.0
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまり満足していない	0	0.0
5: 満足していない	0	0.0

問6 ご参加いただいた研修の実施内容について、当てはまるものを選択してください。

- 1: 大変満足した
- 2: やや満足した
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり満足していない
- 5: 満足していない

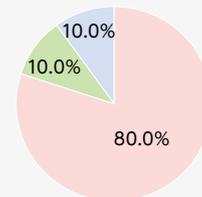


2015年10月8日(木)・9日(金) 福岡会場

Q6	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	8	80.0
2: やや満足した	0	0.0
3: どちらともいえない	1	10.0
4: あまり満足していない	1	10.0
5: 満足していない	0	0.0

問6 ご参加いただいた研修の実施内容について、当てはまるものを選択してください。

- 1: 大変満足した
- 2: やや満足した
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり満足していない
- 5: 満足していない

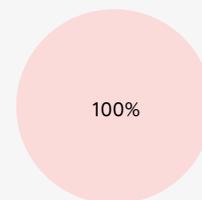


2015年10月15日(木)・16日(金) 東京会場

Q6	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	4	100.0
2: やや満足した	0	0.0
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまり満足していない	0	0.0
5: 満足していない	0	0.0

問6 ご参加いただいた研修の実施内容について、当てはまるものを選択してください。

- 1: 大変満足した
- 2: やや満足した
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり満足していない
- 5: 満足していない



(理由・コメント)

(大阪会場 / 回答 5)

1. 成果物・カリキュラムが出来た。また、作成に至るまでのプロセスが分かった。
2. 大学のような多くの生徒を対象にする組織と普通の様に個別対応は異なると思う。
3. 気付いたことや役立ちが大いにあった。
4. 適切に対応いただいた。
5. 自立就農の支援を増やして欲しい。

(札幌会場 / 回答 2)

1. 農業に拘らない所が良い点でした。
2. 単なる解説だけでなく、実体験に基づく経験を中心とした内容。

(福岡会場 / 回答 7)

1. 帰ってすぐ使えそうな技術をいくつも教えてもらった。
2. 大変分かりやすかったです。
3. グループワークが多くて退屈しなかった。
4. 普段考えていないことを考える機会をもらい、自分の仕事との関わりについて考え直すことができた。
5. 現場での問題の解決に直接生かせそうだったから。

<3 どちらともいえないと回答いただいた方のコメント>

新規就農者以外の生産者とのメンターとしての関わり方も知りたかった。

<4 あまり満足していないと回答いただいた方のコメント>

農大の先生、新規就農の業務が中心の人にふさわしい研修内容だった。参考になる部分もあった。

講師の話は事例が多く専門的な事も分かりやすい。

(東京会場 / 回答 3)

1. ワークも多く、また先生の体験談や事例も多かったので参考になりました。
2. 初めは何をやるのか良く理解できていなかったが、これからの自分自身の生き方についてヒントをもらえた。
3. メンターのあるべきスキル、重要性を理解できた。

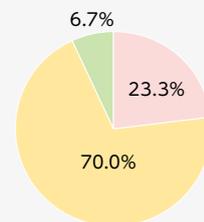
問7 受講者のメンターとしての支援スキルと支援方法の知識・ノウハウが理解できたかについて当てはまるものを選択してください。

<全体>

Q7	回答数	割合(%)
1: よく理解できた	7	23.3
2: 理解できた	21	70.0
3: どちらともいえない	2	6.7
4: 少し難しかった	0	0.0
5: 理解できなかった	0	0.0

問7 受講者のメンターとしての支援スキルと支援方法の知識・ノウハウが理解できたかについて当てはまるものを選択してください。

- 1: よく理解できた
- 2: 理解できた
- 3: どちらともいえない
- 4: 少し難しかった
- 5: 理解できなかった



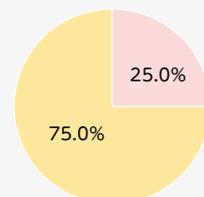
<会場別>

2015年9月17日(木)・18日(金) 大阪会場

Q7	回答数	割合(%)
1: よく理解できた	3	25.0
2: 理解できた	9	75.0
3: どちらともいえない	0	0.0
4: 少し難しかった	0	0.0
5: 理解できなかった	0	0.0

問7 受講者のメンターとしての支援スキルと支援方法の知識・ノウハウが理解できたかについて当てはまるものを選択してください。

- 1: よく理解できた
- 2: 理解できた
- 3: どちらともいえない
- 4: 少し難しかった
- 5: 理解できなかった

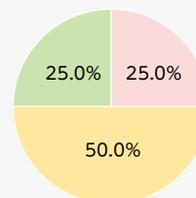


2015年10月1日(木)・2日(金) 札幌会場

Q7	回答数	割合(%)
1: よく理解できた	1	25.0
2: 理解できた	2	50.0
3: どちらともいえない	1	25.0
4: 少し難しかった	0	0.0
5: 理解できなかった	0	0.0

問7 受講者のメンターとしての支援スキルと支援方法の知識・ノウハウが理解できたかについて当てはまるものを選択してください。

- 1: よく理解できた
- 2: 理解できた
- 3: どちらともいえない
- 4: 少し難しかった
- 5: 理解できなかった

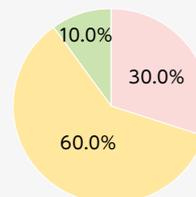


2015年10月8日(木)・9日(金) 福岡会場

Q7	回答数	割合(%)
1: よく理解できた	3	30.0
2: 理解できた	6	60.0
3: どちらともいえない	1	10.0
4: 少し難しかった	0	0.0
5: 理解できなかった	0	0.0

問7 受講者のメンターとしての支援スキルと支援方法の知識・ノウハウが理解できたかについて当てはまるものを選択してください。

- 1: よく理解できた
- 2: 理解できた
- 3: どちらともいえない
- 4: 少し難しかった
- 5: 理解できなかった

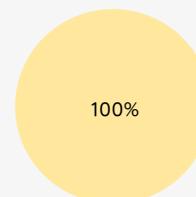


2015年10月15日(木)・16日(金) 東京会場

Q7	回答数	割合(%)
1: よく理解できた	0	0.0
2: 理解できた	4	100.0
3: どちらともいえない	0	0.0
4: 少し難しかった	0	0.0
5: 理解できなかった	0	0.0

問7 受講者のメンターとしての支援スキルと支援方法の知識・ノウハウが理解できたかについて当てはまるものを選択してください。

- 1: よく理解できた
- 2: 理解できた
- 3: どちらともいえない
- 4: 少し難しかった
- 5: 理解できなかった



問8 メンティ(新規就農希望者)のフェーズ毎の習熟度チェックリストの作成、及び受講者が具体的にイメージするメンティ(新規就農希望者)に合わせた計画的な支援カリキュラムを作成というメンターとしての具体的な支援ツールが修得できたかについて当てはまるものを選択してください。

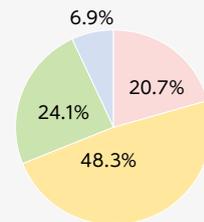
<全体>

Q8	回答数	割合(%)
1: よくできた	6	20.7
2: できた	14	48.3
3: どちらともいえない	7	24.1
4: あまりできなかった	2	6.9
5: できなかった	0	0.0

※東京会場で早退された方がおり無回答が1つあり29回答となっています。

問8 メンティ(新規就農希望者)のフェーズ毎の習熟度チェックリストの作成、及び受講者が具体的にイメージするメンティ(新規就農希望者)に合わせた計画的な支援カリキュラムを作成というメンターとしての具体的な支援ツールが修得できたかについて当てはまるものを選択してください。

1: よくできた
2: できた
3: どちらともいえない
4: あまりできなかった
5: できなかった



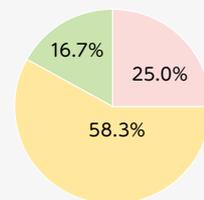
<会場別>

2015年9月17日(木)・18日(金) 大阪会場

Q8	回答数	割合(%)
1: よくできた	3	25.0
2: できた	7	58.3
3: どちらともいえない	2	16.7
4: あまりできなかった	0	0.0
5: できなかった	0	0.0

問8 メンティ(新規就農希望者)のフェーズ毎の習熟度チェックリストの作成、及び受講者が具体的にイメージするメンティ(新規就農希望者)に合わせた計画的な支援カリキュラムを作成というメンターとしての具体的な支援ツールが修得できたかについて当てはまるものを選択してください。

1: よくできた
2: できた
3: どちらともいえない
4: あまりできなかった
5: できなかった

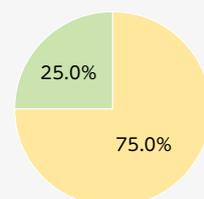


2015年10月1日(木)・2日(金) 札幌会場

Q8	回答数	割合(%)
1: よくできた	0	0.0
2: できた	3	75.0
3: どちらともいえない	1	25.0
4: あまりできなかった	0	0.0
5: できなかった	0	0.0

問8 メンティ(新規就農希望者)のフェーズ毎の習熟度チェックリストの作成、及び受講者が具体的にイメージするメンティ(新規就農希望者)に合わせた計画的な支援カリキュラムを作成というメンターとしての具体的な支援ツールが修得できたかについて当てはまるものを選択してください。

1: よくできた
2: できた
3: どちらともいえない
4: あまりできなかった
5: できなかった

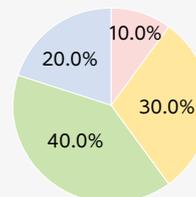


2015年10月8日(木)・9日(金) 福岡会場

Q8	回答数	割合(%)
1:よくできた	1	10.0
2:できた	3	30.0
3:どちらともいえない	4	40.0
4:あまりできなかった	2	20.0
5:できなかった	0	0.0

問8 メンティ(新規就農希望者)のフェーズ毎の習熟度チェックリストの作成、及び受講者が具体的にイメージするメンティ(新規就農希望者)に合わせた計画的な支援カリキュラムを作成というメンターとしての具体的な支援ツールが修得できたかについて当てはまるものを選択してください。

- 1:よくできた
- 2:できた
- 3:どちらともいえない
- 4:あまりできなかった
- 5:できなかった

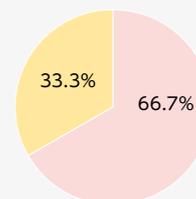


2015年10月15日(木)・16日(金) 東京会場

Q8	回答数	割合(%)
1:よくできた	2	66.7
2:できた	1	33.3
3:どちらともいえない	0	0.0
4:あまりできなかった	0	0.0
5:できなかった	0	0.0

問8 メンティ(新規就農希望者)のフェーズ毎の習熟度チェックリストの作成、及び受講者が具体的にイメージするメンティ(新規就農希望者)に合わせた計画的な支援カリキュラムを作成というメンターとしての具体的な支援ツールが修得できたかについて当てはまるものを選択してください。

- 1:よくできた
- 2:できた
- 3:どちらともいえない
- 4:あまりできなかった
- 5:できなかった



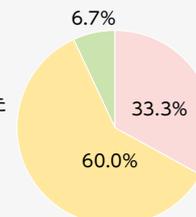
問9 理論だけでなく演習(セルフワーク、ペアワーク、グループワーク)により、メンターとしての支援の実践力が習得できたかについて当てはまるものを選択してください。

<全体>

Q9	回答数	割合(%)
1:向上にとてもつながった	10	33.3
2:向上につながった	18	60.0
3:どちらともいえない	2	6.7
4:あまり向上につながらなかった	0	0.0
5:向上につながらなかった	0	0.0

問9 理論だけでなく演習(セルフワーク、ペアワーク、グループワーク)により、メンターとしての支援の実践力が習得できたかについて当てはまるものを選択してください。

- 1:向上にとてもつながった
- 2:向上につながった
- 3:どちらともいえない
- 4:あまり向上につながらなかった
- 5:向上につながらなかった



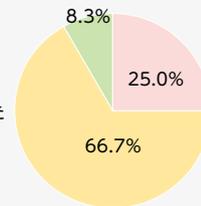
<会場別>

2015年9月17日(木)・18日(金) 大阪会場

Q9	回答数	割合(%)
1:向上にとつながつた	3	25.0
2:向上につながつた	8	66.7
3:どちらともいえない	1	8.3
4:あまり向上につながらなかった	0	0.0
5:向上につながらなかった	0	0.0

問9 理論だけでなく演習(セルフワーク、ペアワーク、グループワーク)により、メンターとしての支援の実践力が習得できたかについて当てはまるものを選択してください。

- 1: 向上にとつながつた
- 2: 向上につながつた
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり向上につながらなかった
- 5: 向上につながらなかった

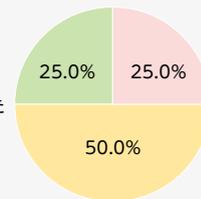


2015年10月1日(木)・2日(金) 札幌会場

Q9	回答数	割合(%)
1:向上にとつながつた	1	25.0
2:向上につながつた	2	50.0
3:どちらともいえない	1	25.0
4:あまり向上につながらなかった	0	0.0
5:向上につながらなかった	0	0.0

問9 理論だけでなく演習(セルフワーク、ペアワーク、グループワーク)により、メンターとしての支援の実践力が習得できたかについて当てはまるものを選択してください。

- 1: 向上にとつながつた
- 2: 向上につながつた
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり向上につながらなかった
- 5: 向上につながらなかった

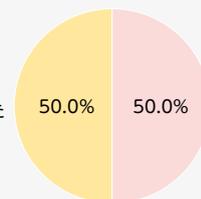


2015年10月8日(木)・9日(金) 福岡会場

Q9	回答数	割合(%)
1:向上にとつながつた	5	50.0
2:向上につながつた	5	50.0
3:どちらともいえない	0	0.0
4:あまり向上につながらなかった	0	0.0
5:向上につながらなかった	0	0.0

問9 理論だけでなく演習(セルフワーク、ペアワーク、グループワーク)により、メンターとしての支援の実践力が習得できたかについて当てはまるものを選択してください。

- 1: 向上にとつながつた
- 2: 向上につながつた
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり向上につながらなかった
- 5: 向上につながらなかった

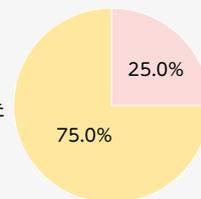


2015年10月15日(木)・16日(金) 東京会場

Q9	回答数	割合(%)
1:向上にとつながつた	1	25.0
2:向上につながつた	3	75.0
3:どちらともいえない	0	0.0
4:あまり向上につながらなかった	0	0.0
5:向上につながらなかった	0	0.0

問9 理論だけでなく演習(セルフワーク、ペアワーク、グループワーク)により、メンターとしての支援の実践力が習得できたかについて当てはまるものを選択してください。

- 1: 向上にとつながつた
- 2: 向上につながつた
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり向上につながらなかった
- 5: 向上につながらなかった

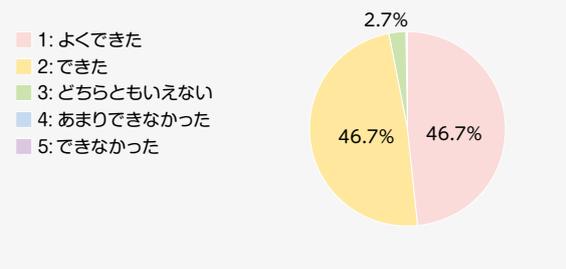


問 10 演習 (ペアワーク、グループワーク) により、受講者の方同士の課題や実践方法、想定されるメンティの事例等の情報収集、研修における受講者同士の様々なアイデアを知ることができたかについて当てはまるものを選択してください。

<全体>

Q10	回答数	割合 (%)
1: よくできた	14	46.7
2: できた	14	46.7
3: どちらともいえない	2	2.7
4: あまりできなかった	0	0.0
5: できなかった	0	0.0

問 10 演習 (ペアワーク、グループワーク) により、受講者の方同士の課題や実践方法、想定されるメンティの事例等の情報収集、研修における受講者同士の様々なアイデアを知ることができたかについて当てはまるものを選択してください。

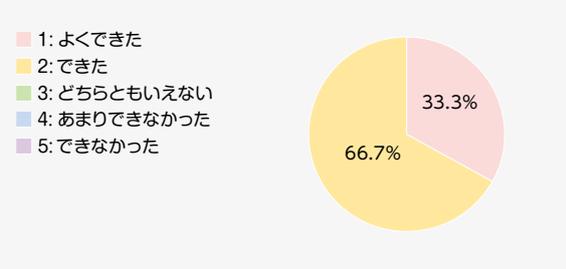


<会場別>

2015年9月17日(木)・18日(金) 大阪会場

Q10	回答数	割合 (%)
1: よくできた	4	33.3
2: できた	8	66.7
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまりできなかった	0	0.0
5: できなかった	0	0.0

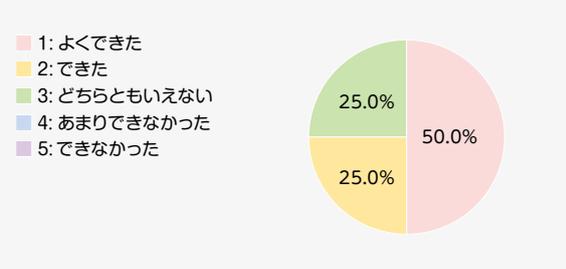
問 10 演習 (ペアワーク、グループワーク) により、受講者の方同士の課題や実践方法、想定されるメンティの事例等の情報収集、研修における受講者同士の様々なアイデアを知ることができたかについて当てはまるものを選択してください。



2015年10月1日(木)・2日(金) 札幌会場

Q10	回答数	割合 (%)
1: よくできた	2	50.0
2: できた	1	25.0
3: どちらともいえない	1	25.0
4: あまりできなかった	0	0.0
5: できなかった	0	0.0

問 10 演習 (ペアワーク、グループワーク) により、受講者の方同士の課題や実践方法、想定されるメンティの事例等の情報収集、研修における受講者同士の様々なアイデアを知ることができたかについて当てはまるものを選択してください。

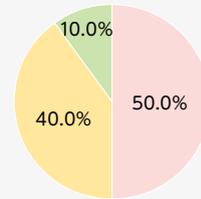


2015年10月8日(木)・9日(金) 福岡会場

Q10	回答数	割合(%)
1: よくできた	5	50.0
2: できた	4	40.0
3: どちらともいえない	1	10.0
4: あまりできなかった	0	0.0
5: できなかった	0	0.0

問 10 演習（ペアワーク、グループワーク）により、受講者の方
同士の課題や実践方法、想定されるメンティの事例等の情報収
集、研修における受講者同士の様々なアイデアを知ることがで
きたかについて当てはまるものを選択してください。

- 1: よくできた
- 2: できた
- 3: どちらともいえない
- 4: あまりできなかった
- 5: できなかった

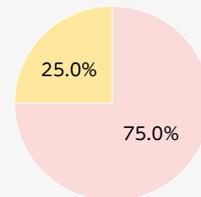


2015年10月15日(木)・16日(金) 東京会場

Q10	回答数	割合(%)
1: よくできた	3	75.0
2: できた	1	25.0
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまりできなかった	0	0.0
5: できなかった	0	0.0

問 10 演習（ペアワーク、グループワーク）により、受講者の方
同士の課題や実践方法、想定されるメンティの事例等の情報収
集、研修における受講者同士の様々なアイデアを知ることがで
きたかについて当てはまるものを選択してください。

- 1: よくできた
- 2: できた
- 3: どちらともいえない
- 4: あまりできなかった
- 5: できなかった



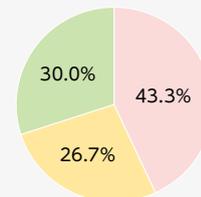
問 11 演習（ペアワーク、グループワーク）により、受講者の方との広域に渡るネットワー
クを構築することができたかについて当てはまるものを選択してください。

<全体>

Q11	回答数	割合(%)
1: よくできた	13	43.3
2: できた	8	26.7
3: どちらともいえない	9	30.0
4: あまりできなかった	0	0.0
5: できなかった	0	0.0

問 11 演習（ペアワーク、グループワーク）により、受講者の方
との広域に渡るネットワークを構築することができたかについて
当てはまるものを選択してください。

- 1: よくできた
- 2: できた
- 3: どちらともいえない
- 4: あまりできなかった
- 5: できなかった



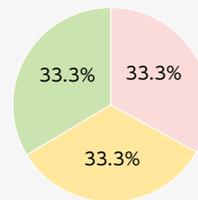
<会場別>

2015年9月17日(木)・18日(金) 大阪会場

Q11	回答数	割合(%)
1:よくできた	4	33.3
2:できた	4	33.3
3:どちらともいえない	4	33.3
4:あまりできなかった	0	0.0
5:できなかった	0	0.0

問11 演習(ペアワーク、グループワーク)により、受講者の方との広域に渡るネットワークを構築することができたかについて当てはまるものを選択してください。

- 1:よくできた
- 2:できた
- 3:どちらともいえない
- 4:あまりできなかった
- 5:できなかった

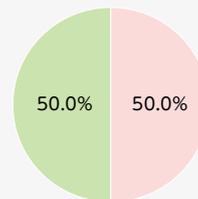


2015年10月1日(木)・2日(金) 札幌会場

Q11	回答数	割合(%)
1:よくできた	2	50.0
2:できた	0	0.0
3:どちらともいえない	2	50.0
4:あまりできなかった	0	0.0
5:できなかった	0	0.0

問11 演習(ペアワーク、グループワーク)により、受講者の方との広域に渡るネットワークを構築することができたかについて当てはまるものを選択してください。

- 1:よくできた
- 2:できた
- 3:どちらともいえない
- 4:あまりできなかった
- 5:できなかった

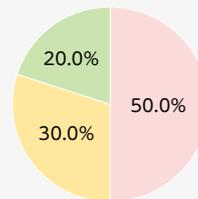


2015年10月8日(木)・9日(金) 福岡会場

Q11	回答数	割合(%)
1:よくできた	5	50.0
2:できた	3	30.0
3:どちらともいえない	2	20.0
4:あまりできなかった	0	0.0
5:できなかった	0	0.0

問11 演習(ペアワーク、グループワーク)により、受講者の方との広域に渡るネットワークを構築することができたかについて当てはまるものを選択してください。

- 1:よくできた
- 2:できた
- 3:どちらともいえない
- 4:あまりできなかった
- 5:できなかった

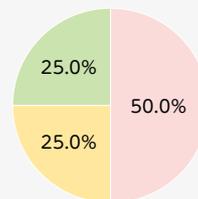


2015年10月15日(木)・16日(金) 東京会場

Q11	回答数	割合(%)
1:よくできた	2	50.0
2:できた	1	25.0
3:どちらともいえない	1	25.0
4:あまりできなかった	0	0.0
5:できなかった	0	0.0

問11 演習(ペアワーク、グループワーク)により、受講者の方との広域に渡るネットワークを構築することができたかについて当てはまるものを選択してください。

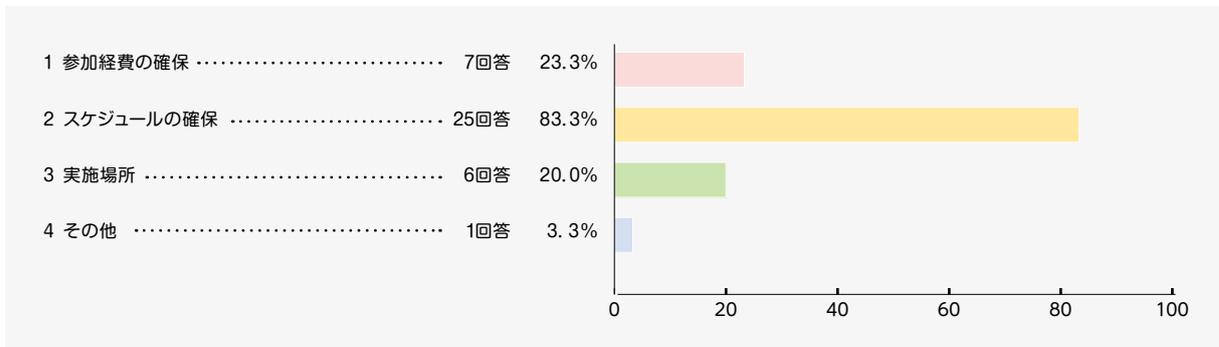
- 1:よくできた
- 2:できた
- 3:どちらともいえない
- 4:あまりできなかった
- 5:できなかった



【研修参加の課題】

問12 研修に参加する上で課題となったことは何ですか。(いくつでも可)

<全体>



<会場別>

2015年9月17日(木)・18日(金) 大阪会場

Q12	回答数	割合(%)
1: 参加経費の確保	2	16.7
2: スケジュールの確保	9	75.0
3: 実施場所	3	25.0
4: その他	0	0.0

2015年10月1日(木)・2日(金) 札幌会場

Q12	回答数	割合(%)
1: 参加経費の確保	0	0.0
2: スケジュールの確保	4	100.0
3: 実施場所	1	25.0
4: その他	0	0.0

2015年10月8日(木)・9日(金) 福岡会場

Q12	回答数	割合(%)
1: 参加経費の確保	5	50.0
2: スケジュールの確保	9	90.0
3: 実施場所	1	10.0
4: その他	0	0.0

2015年10月15日(木)・16日(金) 東京会場

Q12	回答数	割合(%)
1: 参加経費の確保	0	0.0
2: スケジュールの確保	3	75.0
3: 実施場所	1	25.0
4: その他	1	25.0

(理由・コメント)

(大阪会場 / 回答3)

1. 日常的に農大授業があるなかで、それを調整することが大変であった。
2. 人手不足、予算不足。
3. 京都での開催を希望します。

(札幌会場 / 回答3)

1. たまった仕事は次の日にさばきます。
2. 今日は良い時期でした。農業は部分的に忙しい。
3. 北海道の農業期には参加が難しい。

(福岡会場 / 回答 6)

1. 今回は授業のない日での実施だったのでよかったが、それでもホームルームや実習指導を他の先生に頼まなければならなかった。
2. 1回目の参加者が2回目出席できず交代したこと。(1回のショートコースがあれば参加しやすいかも。または2日連続ではなく分かれた日の方がスケジュール調整が行いやすいかも)
3. 参加しやすい時期だった。
4. もともと、この研修を予定していなかったため予算がない。また、昨年まで取り組んでいなかった業務が今年から増えたため時間的余裕がないため。
5. 2日間の研修は予定を入れにくい。
6. 研修が複数回ある方が効果は高いが、複数回参加することが決めがたい。

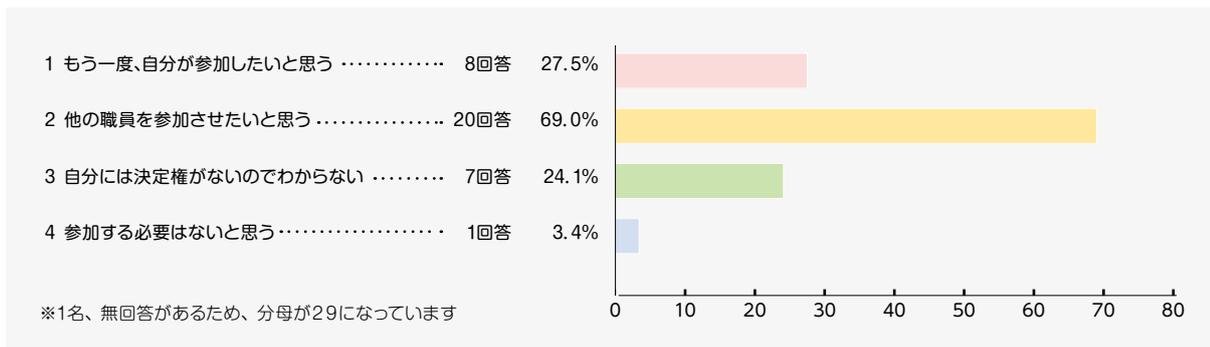
(東京会場 / 回答 1)

1. 遠い。

【次回の参加希望】

問 13 問12の課題が解決され、来年度も農業メンター実践研修会が実施された場合、参加したい(参加させたい)と思いますか。お考えに当てはまるものを全て選択してください。

<全体>



<会場別>

2015年9月17日(木)・18日(金) 大阪会場

Q13	回答数	割合(%)
1: もう一度、自分が参加したいと思う	2	16.7
2: 他の職員を参加させたいと思う	9	75.0
3: 自分には決定権がないのでわからない	4	33.3
4: 参加する必要はないと思う	0	0.0

2015年10月1日(木)・2日(金) 札幌会場

Q13	回答数	割合(%)
1: もう一度、自分が参加したいと思う	3	75.0
2: 他の職員を参加させたいと思う	3	75.0
3: 自分には決定権がないのでわからない	0	0.0
4: 参加する必要はないと思う	0	0.0

2015年10月8日(木)・9日(金) 福岡会場

Q13	回答数	割合(%)
1: もう一度、自分が参加したいと思う	3	30.0
2: 他の職員を参加させたいと思う	6	60.0
3: 自分には決定権がないのでわからない	3	30.0
4: 参加する必要はないと思う	0	0.0

2015年10月15日(木)・16日(金) 東京会場

Q13	回答数	割合(%)
1: もう一度、自分が参加したいと思う	0	0.0
2: 他の職員を参加させたいと思う	2	66.7
3: 自分には決定権がないのでわからない	0	0.0
4: 参加する必要はないと思う	1	33.3

※1名、無回答があるため、分母が3になっています

(理由・コメント)

(大阪会場 / 回答 2)

1. 就業相談に限らず、普及員は受けたほうが有用だと思う。
2. 参加時期と担当職によります。

(札幌会場 / 回答 2)

1. 先生も最高。異業種交流会にもなり得るものが多い。
2. 特に本校は必要と認識しました。

(福岡会場 / 回答 6)

1. 新たに農大に赴任した先生は、早めに聞いておけば、その後の学生指導にタイミングよく活用できると思う。
2. 農大だけでなく、普及指導員も、傾聴スキルは覚えていてよいと思う。
3. 農大の担当者や各出先機関の新規就農者の担当者に知ってほしい。
4. 職場の新規就農担当者は、この研修を受けたことがないため。
5. 農大の先生、新規就農支援対象者に絞るべき。
6. 紹介したいと思います。

(東京会場 / 回答 2)

1. スケジュールなどをみて検討したいと思います。
2. 今回インプットしたものを、アウトプットして、インフォメーションにしていき、自分自身の経験としていきたい。

【事業継続と社会コスト投入の意義】

問 14 本事業が今後も実施される場合の社会コスト投入の意義について、お考えに当てはまるものを選択してください。

<全体>

Q14	回答数	割合(%)
1: 大いに意義を感じる	6	20.0
2: 意義を感じる	18	60.0
3: どちらともいえない	6	20.0
4: 意義をあまり感じない	0	0.0
5: 意義はない (これだけの社会コストを投入してまで実施する必要はない)	0	0.0

※追記記述

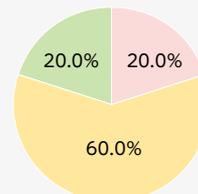
(回答2) ただし、成果の出にくい部門ですので、地道に継続することが必要なのではないのでしょうか

(回答2) 対象を絞るのなら

(回答3) どのくらいコストがかかっているのかが分からないので判断できない

問 14 本事業が今後も実施される場合の社会コスト投入の意義について、お考えに当てはまるものを選択してください。

- 1: 大いに意義を感じる
- 2: 意義を感じる
- 3: どちらともいえない
- 4: 意義をあまり感じない
- 5: 意義はない (これだけの社会コストを投入してまで実施する必要はない)



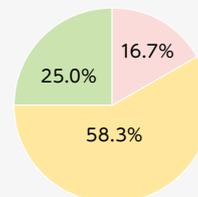
<会場別>

2015年9月17日(木)・18日(金) 大阪会場

Q14	回答数	割合(%)
1: 大いに意義を感じる	2	16.7
2: 意義を感じる	7	58.3
3: どちらともいえない	3	25.0
4: 意義をあまり感じない	0	0.0
5: 意義はない (これだけの社会コストを投入してまで実施する必要はない)	0	0.0

問 14 本事業が今後も実施される場合の社会コスト投入の意義について、お考えに当てはまるものを選択してください。

- 1: 大いに意義を感じる
- 2: 意義を感じる
- 3: どちらともいえない
- 4: 意義をあまり感じない
- 5: 意義はない (これだけの社会コストを投入してまで実施する必要はない)

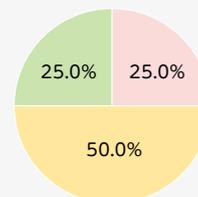


2015年10月1日(木)・2日(金) 札幌会場

Q14	回答数	割合(%)
1: 大いに意義を感じる	1	25.0
2: 意義を感じる	2	50.0
3: どちらともいえない	1	25.0
4: 意義をあまり感じない	0	0.0
5: 意義はない (これだけの社会コストを投入してまで実施する必要はない)	0	0.0

問 14 本事業が今後も実施される場合の社会コスト投入の意義について、お考えに当てはまるものを選択してください。

- 1: 大いに意義を感じる
- 2: 意義を感じる
- 3: どちらともいえない
- 4: 意義をあまり感じない
- 5: 意義はない (これだけの社会コストを投入してまで実施する必要はない)

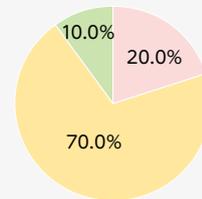


2015年10月8日(木)・9日(金) 福岡会場

Q14	回答数	割合(%)
1: 大いに意義を感じる	2	20.0
2: 意義を感じる	7	70.0
3: どちらともいえない	1	10.0
4: 意義をあまり感じない	0	0.0
5: 意義はない (これだけの社会コストを投入してまで実施する必要はない)	0	0.0

問14 本事業が今後も実施される場合の社会コスト投入の意義について、お考えに当てはまるものを選択してください。

- 1: 大いに意義を感じる
- 2: 意義を感じる
- 3: どちらともいえない
- 4: 意義をあまり感じない
- 5: 意義はない(これだけの社会コストを投入してまで実施する必要はない)

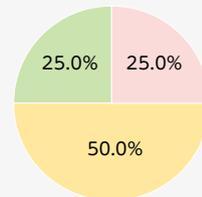


2015年10月15日(木)・16日(金) 東京会場

Q14	回答数	割合(%)
1: 大いに意義を感じる	1	25.0
2: 意義を感じる	2	50.0
3: どちらともいえない	1	25.0
4: 意義をあまり感じない	0	0.0
5: 意義はない (これだけの社会コストを投入してまで実施する必要はない)	0	0.0

問14 本事業が今後も実施される場合の社会コスト投入の意義について、お考えに当てはまるものを選択してください。

- 1: 大いに意義を感じる
- 2: 意義を感じる
- 3: どちらともいえない
- 4: 意義をあまり感じない
- 5: 意義はない(これだけの社会コストを投入してまで実施する必要はない)



【波及効果の想定】

問15 みなさまが地域において、本研修で受講された内容を踏まえた今後の指導の実践等により創出される効果として、考えられるものがありましたら具体的に記入ください。

(理由・コメント)

(大阪会場 / 回答 7)

1. 学生の状況把握が適切に行える。ひいては、そのことが正しい進路指導につながる。
2. 各々に応じた指導による県農業の盛り上げ。
3. 人生経験の少ない若い方の人物把握の手法の習得。
4. 意欲のある農家の創出。
5. 新規就業の指導。
6. 他の職員と情報を共有したいと思う。
7. 就農支援の充実。

(札幌会場 / 回答 4)

1. 対話が増えていくという効果を期待します。
2. 前向きな指導が出来ている。
3. 他分野との交流にとどまらないアイデアが話し合われた場所。
4. 農業を志す若者の下支え。

(福岡会場 / 回答 8)

1. 学生が法人等に就農する際のマッチングや事前準備等を円滑に行うことが出来るかもしれない。そうなれば雇用主の満足度が向上し、長期的に見れば経営体質も改善されるかもしれない。
2. 新規参入者や、新たな有機栽培方法を指導するときに実践して、短期間で自立出来る効果が得られる。
3. 新規就農希望者の希望により合わせられるようになり、ミスマッチが減るのではないか。
4. リスク分散（経営のスキルが向上し、もしもの対応ができる）。経営の早期確立。
5. 農家などを支援する際に、どのようにカリキュラムを組んで支援すると良いかを考える際に役立つと思われる。
6. 分からない。
7. 修得が不十分なため実践できない。学ぶべきものが修得し実践できるならば、就農間もない農家の定着、経営発展につながると思う。
8. 新規就農希望者が、将来どうするべきなのか。また、受入地域はどうすればよいのかを判断、行動することで、スムーズな就農に結びつくと思われる。

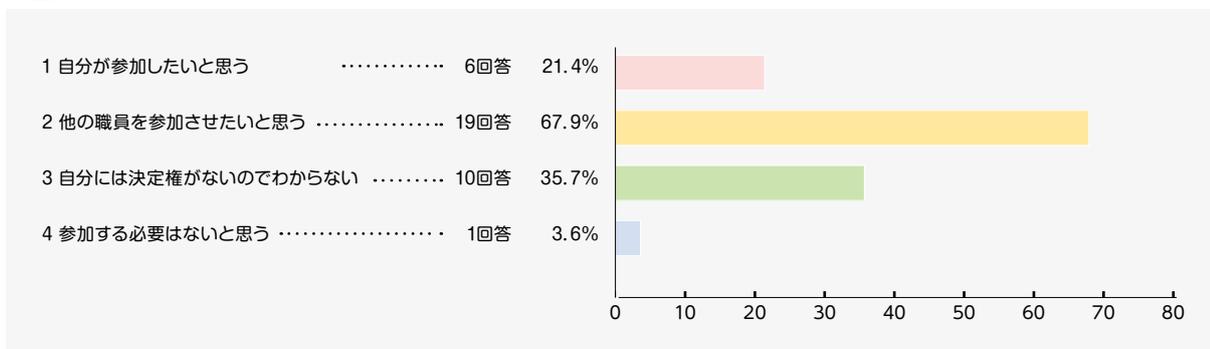
(東京会場 / 回答 4)

1. クライアントのエンドユーザーのメンターになれるといいですね。
2. 新規就農者の育成。
3. 農業に従事する人の意識を向上させ、日本全体の農業が良くなっていくと思います。
4. 学校の教師の姿勢向上。

【農業メンター実践研修会の都道府県単位での実施可能性】

問 16 今後、このような研修を都道府県単位（都道府県主体：単独の予算）で課題が解決されて実施できるとした場合、参加したい（参加させたい）と思いますか。お考えに当てはまるものを全て選択してください。

<全体>



※2名、無回答があるため、分母が28になっています

<会場別>

2015年9月17日(木)・18日(金) 大阪会場

Q16	回答数	割合(%)
1: 自分が参加したいと思う	1	9.1
2: 他の職員を参加させたいと思う	6	54.5
3: 自分には決定権がないのでわからない	7	63.6
4: 参加する必要はないと思う	0	0.0

※1名、無回答があるため、分母が11になっています

2015年10月1日(木)・2日(金) 札幌会場

Q16	回答数	割合(%)
1:自分が参加したいと思う	3	75.0
2:他の職員を参加させたいと思う	3	75.0
3:自分には決定権がないのでわからない	0	0.0
4:参加する必要はないと思う	0	0.0

2015年10月8日(木)・9日(金) 福岡会場

Q16	回答数	割合(%)
1:自分が参加したいと思う	2	20.0
2:他の職員を参加させたいと思う	7	70.0
3:自分には決定権がないのでわからない	3	30.0
4:参加する必要はないと思う	1	10.0

2015年10月15日(木)・16日(金) 東京会場

Q16	回答数	割合(%)
1:自分が参加したいと思う	0	0.0
2:他の職員を参加させたいと思う	3	100.0
3:自分には決定権がないのでわからない	0	0.0
4:参加する必要はないと思う	0	0.0

※1名、無回答があるため、分母が3になっています

(理由・コメント)

(大阪会場 / 回答2)

1. 今回、事前に送付のあったパンフレットを県の出先部署にも配布しましたが、県域を越えるところから参加がなかった。
2. 普及員には質問の引き出し方、厳しい現状を伝える時に、「事実」+「どうする」で相手の答えを引き出す手法は必要だと感じた。今まで伝えるだけで決め付けていた。

(札幌会場 / 回答2)

1. あまり遠くなければ薦めたい。
2. 講師をどなたが行うかにより内容が変わると想定されるので、講師の選定が必要。

(福岡会場 / 回答 6)

1. 多くの先生が受講されたらよいと思う。
2. 就農者支援以外でも応用できる内容だと思う。
3. 新規就農に係わるメンター研修は、まず新規就農担当者につけていただきたい。
4. 今回の内容であれば農大関係者。就農後の支援についての内容であれば、受講対象者は多いため県単位ですべき。
5. 紹介したいと思います。

<回答4選択者コメント>

他の都道府県からも参加があるほうが、交流も出来るので、今後も国の事業で行うのがよい。

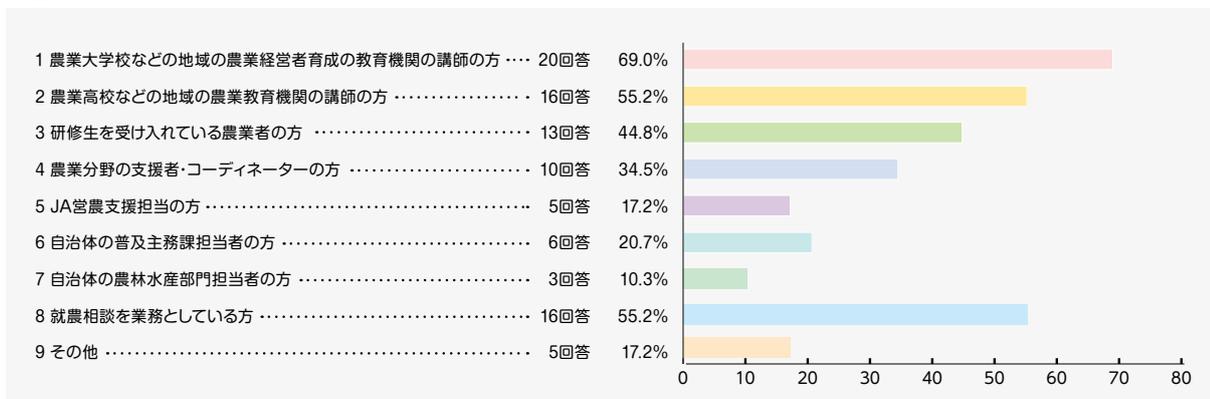
(東京会場 / 回答 2)

1. クライアントのエンドユーザーのメンターになれるといいですね。
2. メンターを要望する人材は少ないかも。

【農業メンター実践研修会の参加想定】

問17 今回受講された研修の内容を踏まえ、農業のメンターとしての能力が養成され、指導を受ける新規就農希望者等の満足度・モチベーション向上、的確な指導の実施による地域の新規就農希望者等の就農率向上・担い手の増加、及び、農業経営力を備えた将来の地域農業のリーダーとなる人材の層の拡充が期待されてゆく中で、ご本人様以外に本研修を受講すべきだと思う人材について、お考えに当てはまるものを選択してください。(いくつでも可)

<全体>



※1名、無回答があるため、分母が29になっています

<会場別>

2015年9月17日(木)・18日(金) 大阪会場

Q17	回答数	割合(%)
1: 農業大学校などの地域の農業経営者育成の教育機関の講師の方	7	63.6
2: 農業高校などの地域の農業教育機関の講師の方	4	36.3
3: 研修生を受け入れている農業者の方	5	45.5
4: 農業分野の支援者・コーディネーターの方	2	18.2
5: J A 営農支援担当の方	3	27.3
6: 自治体の普及主務課担当の方	5	45.5
7: 自治体の農林水産部門担当の方	2	18.2
8: 就農相談を業務としている方	9	81.8
9: その他	1	9.1

※1名、無回答があるため、分母が11になっています

2015年10月1日(木)・2日(金) 札幌会場

Q17	回答数	割合(%)
1: 農業大学校などの地域の農業経営者育成の教育機関の講師の方	1	25.0
2: 農業高校などの地域の農業教育機関の講師の方	3	75.0
3: 研修生を受け入れている農業者の方	1	25.0
4: 農業分野の支援者・コーディネーターの方	2	50.0
5: J A 営農支援担当の方	0	0.0
6: 自治体の普及主務課担当の方	0	0.0
7: 自治体の農林水産部門担当の方	1	25.0
8: 就農相談を業務としている方	2	50.0
9: その他	2	50.0

2015年10月8日(木)・9日(金) 福岡会場

Q17	回答数	割合(%)
1: 農業大学校などの地域の農業経営者育成の教育機関の講師の方	10	100.0
2: 農業高校などの地域の農業教育機関の講師の方	8	80.0
3: 研修生を受け入れている農業者の方	6	60.0
4: 農業分野の支援者・コーディネーターの方	5	50.0
5: J A 営農支援担当の方	2	20.0
6: 自治体の普及主務課担当の方	1	10.0
7: 自治体の農林水産部門担当の方	0	0.0
8: 就農相談を業務としている方	5	50.0
9: その他	1	10.0

2015年10月15日(木)・16日(金) 東京会場

Q17	回答数	割合(%)
1: 農業大学校などの地域の農業経営者育成の教育機関の講師の方	2	50.0
2: 農業高校などの地域の農業教育機関の講師の方	1	25.0
3: 研修生を受け入れている農業者の方	1	25.0
4: 農業分野の支援者・コーディネーターの方	1	25.0
5: J A 営農支援担当の方	0	0.0
6: 自治体の普及主務課担当の方	0	0.0
7: 自治体の農林水産部門担当の方	0	0.0
8: 就農相談を業務としている方	0	0.0
9: その他	1	25.0

「9: その他」選択の記述(回答5うち3記述あり・うち2無回答)

1. 雇用就農先の事業主(離職を防止することが就農等の向上につながるため)。
2. 全員OK。
3. 農業大学の校長や管理職、JAの課長以上の職員。

(理由・コメント)

(大阪会場／回答3)

1. JAが非協力的なので。
2. 就農希望者が増加している中で、このような研修は大事で参考になると思いました。
3. 濃密な就農支援が出来る機関が中心になると思う。

(札幌会場／回答2)

1. 農業にとどまることなく話が出来ていると思う。
2. 食品加工、レストラン等、食にかかわる業務を行っている方々。

(福岡会場／回答4)

1. 特定の人とある程度の期間関わる場合、本講座の様な知識があれば効率よく目標に近づけると思います。
2. 早い段階でやる気スイッチを入れるほうが効果的と考える。
3. 新規就農者に直接技術等の支援をする人、就労希望者に支援をする人に受講して欲しい。
4. 農家が直接学ぶことが望ましいが、普及員が伝える方が現実的かもしれません。

(東京会場／回答2)

1. 新規就農希望者を扱うのが初めての方が多く思ったので。
2. 現場が活き活きするためには管理職の意識改革をしていく必要があると思う。

問18 2日間の研修へのご意見、研修内容へのご要望、ご感想などございましたら、ご記入ください。

(理由・コメント)

(大阪会場／回答5)

1. お世話になりました。今後ともよろしくお願いします。
2. 言葉になれなければいけないが、あえてカタカナ言葉を利用する必要性を感じません。例：メンター→支援者・指導者。スキル→技能・能力
3. 職場で利用したいと思います。
4. ありがとうございました。
5. 今後ともこのような研修を継続して実施していただくとともに、更なる内容の充実を図っていただきたい。

(札幌会場／回答2)

1. とても満足しました。メンターとしてのかっこ良さを今後も意識します。
2. まずは自分でまとめ、その後、取り入れていきたいです。

(福岡会場／回答6)

1. 10人程度の研修は和やかで発言しやすく、とても良かったです。
2. 途中参加というイレギュラーでしたが、参加させていただき深く理解出来ました。ありがとうございました。
3. グループワークが多くてよかった。
4. 他の研修生から様々な話が聞けて良かった。
5. 募集の時点で「新規就農について」の研修という部分を周知してほしい。
6. 現場ですぐ活かせるような内容で、大変勉強になりました。ありがとうございました。

(東京会場／回答4)

1. 厳しく意見をくださるセミナーはなかなかないので、とても参考になりました。もっと沢山の方々が受けられるといいですね。
2. もう少し平易な言葉を使った方が良い。
3. ありがとうございました。
4. 大変有意義な研修でした。自分への宿題にチャレンジする勇気や闘志がわいてきた。

< 参考 >

平成27年度 新規就農・経営継承総合支援事業のうち技術習得支援3
指導者向け研修(2)

農水省・農業メンターブラッシュアップ研修 アンケート

アンケート回収件数	4件
-----------	----

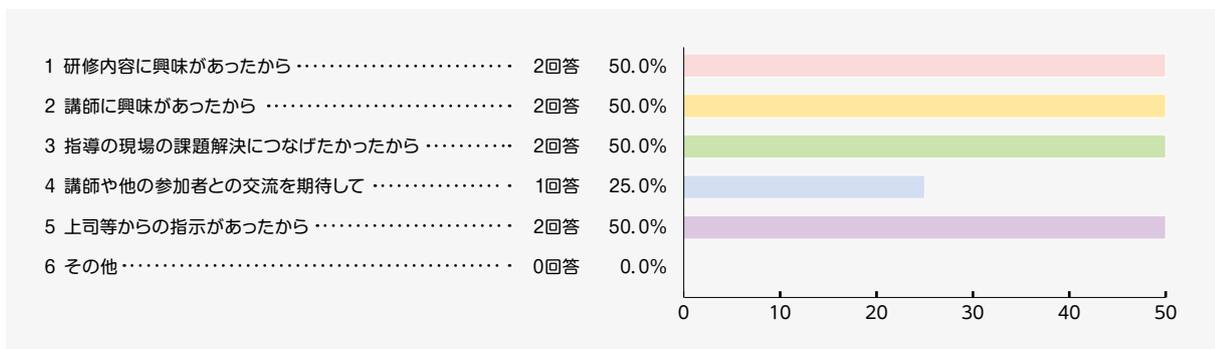
研修期間・実施場所

日程	会場	回収件数
2015年12月17日(木)	東京会場・ブラッシュアップ研修	1件
2016年1月21日(木)	大阪会場・ブラッシュアップ研修	3件
計		4件

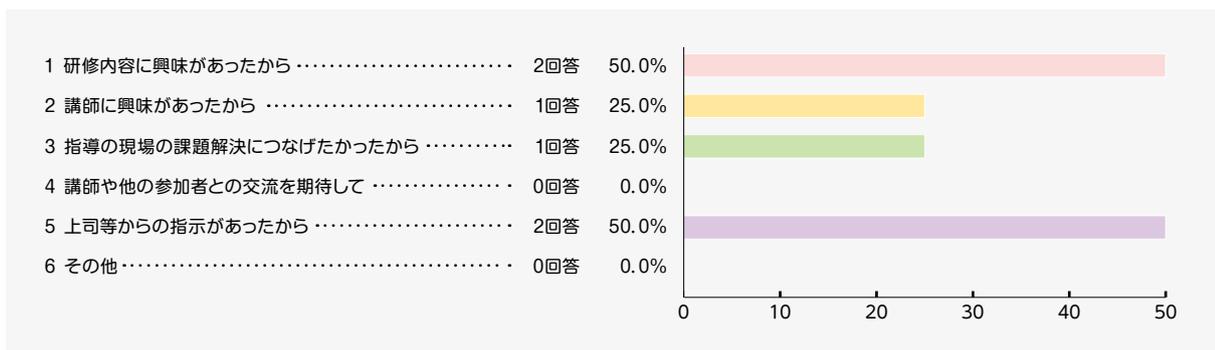
【研修参加の目的や実施時期・期間】

問1 研修に参加された動機は何ですか。(複数回答可:3つまで)

<ブラッシュアップ研修終了時アンケート>



<実践研修会終了時・同対象者アンケート>



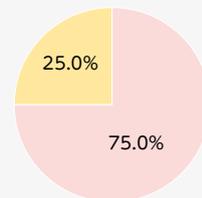
問2 実施時期はいかがでしたか。

Q2	回答数	割合(%)
1: もっと早い時期がよい	3	75.0
大阪 3 回答		
2: ちょうどよい	1	25.0
東京 1 回答		
3: もっと遅い時期がよい	0	0.0

東京会場 / 2015年12月17日(木) 実施
 大阪会場 / 2016年1月21日(木) 実施

問2 実施時期はいかがでしたか。

- 1: もっと早い時期がよい
- 2: ちょうどよい
- 3: もっと遅い時期がよい



問3-1 実施時期はいつ頃がご希望でしょうか。(有効回答 3/ 全て大阪会場)

1. 11月頃
2. 10~11月
3. 7月

問3-2 実施時期で、参加が難しい時期はいつ頃でしょうか。(有効回答 2/ 全て大阪会場)

1. 1月
2. 2~3月

問4 実施期間(1日間)はいかがでしたか。

Q4	回答数	割合(%)
1: 短かった	0	0.0
2: ちょうどよい	4	100.0
3: 長かった	0	0.0

問4 実施期間(1日間)はいかがでしたか。

- 1: 短かった
- 2: ちょうどよい
- 3: 長かった



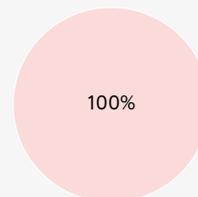
【研修の実施体制等の評価】

問5-1 ご参加いただいた研修を全体として評価した場合に当てはまるものを選択してください。

Q5-1	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	4	100.0
2: やや満足した	0	0.0
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまり満足していない	0	0.0
5: 満足していない	0	0.0

問5-1 ご参加いただいた研修を全体として評価した場合に当てはまるものを選択してください。

- 1: 大変満足した
- 2: やや満足した
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり満足していない
- 5: 満足していない

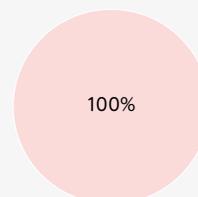


問5-2 講師の対応について当てはまるものを選択してください。

Q5-2	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	4	100.0
2: やや満足した	0	0.0
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまり満足していない	0	0.0
5: 満足していない	0	0.0

問5-2 講師の対応について当てはまるものを選択してください。

- 1: 大変満足した
- 2: やや満足した
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり満足していない
- 5: 満足していない



(理由・コメント)

(東京会場)

1. 参加人数が少なかったこともありますが、大げさに言えば今後の私の人生を左右するくらいになった研修でした。本当にお世話になりました。

(大阪会場)

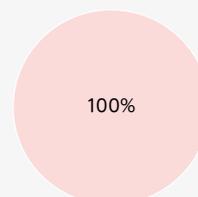
1. いろいろメンターとしてのスキルが身についたから
2. 具体的な対応内容が分かり、今後の業務に活かせるため

問5-3 事務局の対応について当てはまるものを選択してください。

Q5-3	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	4	100.0
2: やや満足した	0	0.0
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまり満足していない	0	0.0
5: 満足していない	0	0.0

問5-3 事務局の対応について当てはまるものを選択してください

- 1: 大変満足した
- 2: やや満足した
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり満足していない
- 5: 満足していない



(理由・コメント)

(東京会場)

1. しっかりサポートしていただきました

(大阪会場)

1. 対応が良かったから
2. いつもお世話になります

【研修の実践内容の評価】

問6 ご参加いただいた研修の実施内容について、当てはまるものを選択してください。

Q6	回答数	割合(%)
1: 大変満足した	4	100.0
2: やや満足した	0	0.0
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまり満足していない	0	0.0
5: 満足していない	0	0.0

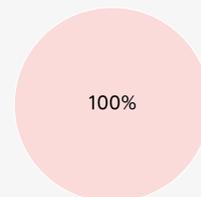
(理由・コメント)

(東京会場)

1. 指導していくうえで必要なもの、相手の置かれている状況をふまえてコーチング・ティーチング・カウンセリング・コンサルティンクを使い分けることや、モチベーション管理、傾聴、コミュニケーション力などを総合的に分かりやすく教えていただいた。

問6 ご参加いただいた研修の実施内容について、当てはまるものを選択してください。

- 1: 大変満足した
- 2: やや満足した
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり満足していない
- 5: 満足していない



(大阪会場)

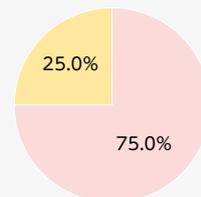
1. 大変参考になった
2. 様々な情報や知識も得られるため

問7 ブラッシュアップ研修により、養成研修の内容の振り返りを含め、受講者のメンターとしての支援スキルと支援方法の知識・ノウハウの定着につながったかについて当てはまるものを選択してください。

Q7	回答数	割合(%)
1: とてもつながった	3	75.0
	東京1回答、大阪2回答	
2: つながった	1	25.0
	大阪1回答	
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまりつながらなかった	0	0.0
5: つながらなかった	0	0.0

問7 ブラッシュアップ研修により、養成研修の内容の振り返りを含め、受講者のメンターとしての支援スキルと支援方法の知識・ノウハウの定着につながったかについて当てはまるものを選択してください。

- 1: とてもつながった
- 2: つながった
- 3: どちらともいえない
- 4: あまりつながらなかった
- 5: つながらなかった

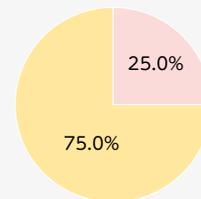


問8 メンティ（新規就農希望者）のフェーズ毎の習熟度チェックリストのブラッシュアップ、及び受講者が具体的にイメージするメンティ（新規就農希望者）に合わせた計画的な支援カリキュラムのブラッシュアップにより、メンターとしての具体的な、精度が高まった支援ツールが修得できたかについて当てはまるものを選択してください。

Q8	回答数	割合(%)
1: よくできた	1	25.0
	大阪 1 回答	
2: できた	3	75.0
	東京 1 回答、大阪 2 回答	
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまりできなかった	0	0.0
5: できなかった	0	0.0

問8 メンティ（新規就農希望者）のフェーズ毎の習熟度チェックリストのブラッシュアップ、及び受講者が具体的にイメージするメンティ（新規就農希望者）に合わせた計画的な支援カリキュラムのブラッシュアップにより、メンターとしての具体的な、精度が高まった支援ツールが修得できたかについて当てはまるものを選択してください。

- 1: よくできた
- 2: できた
- 3: どちらともいえない
- 4: あまりできなかった
- 5: できなかった

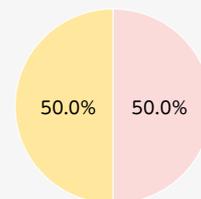


問9 ブラッシュアップ研修により、現状報告、課題と事例検討、改善方法のグループワークを含め、メンターとしての支援の実践力の定着につながったかについて当てはまるものを選択してください。

Q9	回答数	割合(%)
1: とてもつながった	2	50.0
	東京 1 回答、大阪 1 回答	
2: つながった	2	50.0
	大阪 2 回答	
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまりつながらなかった	0	0.0
5: つながらなかった	0	0.0

問9 ブラッシュアップ研修により、現状報告、課題と事例検討、改善方法のグループワークを含め、メンターとしての支援の実践力の定着につながったかについて当てはまるものを選択してください。

- 1: とてもつながった
- 2: つながった
- 3: どちらともいえない
- 4: あまりつながらなかった
- 5: つながらなかった

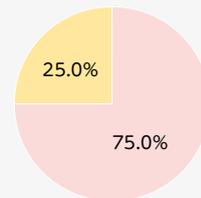


問10 ブラッシュアップ研修により、受講者の方同士の課題や実践方法、想定されるメンティの事例等の情報収集、研修における受講者同士の様々な改善アイデアを知ることができたかについて当てはまるものを選択してください。

Q10	回答数	割合(%)
1: よくできた	3	75.0
	東京1回答、大阪2回答	
2: できた	1	25.0
	大阪1回答	
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまりできなかった	0	0.0
5: できなかった	0	0.0

問10 ブラッシュアップ研修により、受講者の方同士の課題や実践方法、想定されるメンティの事例等の情報収集、研修における受講者同士の様々な改善アイデアを知ることができたかについて当てはまるものを選択してください。

- 1: よくできた
- 2: できた
- 3: どちらともいえない
- 4: あまりできなかった
- 5: できなかった

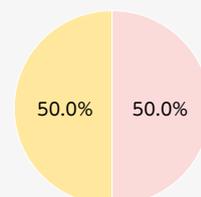


問11 ブラッシュアップ研修により、受講者の方との広域に渡るネットワークを構築することができたかについて当てはまるものを選択してください。

Q11	回答数	割合(%)
1: よくできた	2	50.0
	東京1回答、大阪1回答	
2: できた	2	50.0
	大阪2回答	
3: どちらともいえない	0	0.0
4: あまりできなかった	0	0.0
5: できなかった	0	0.0

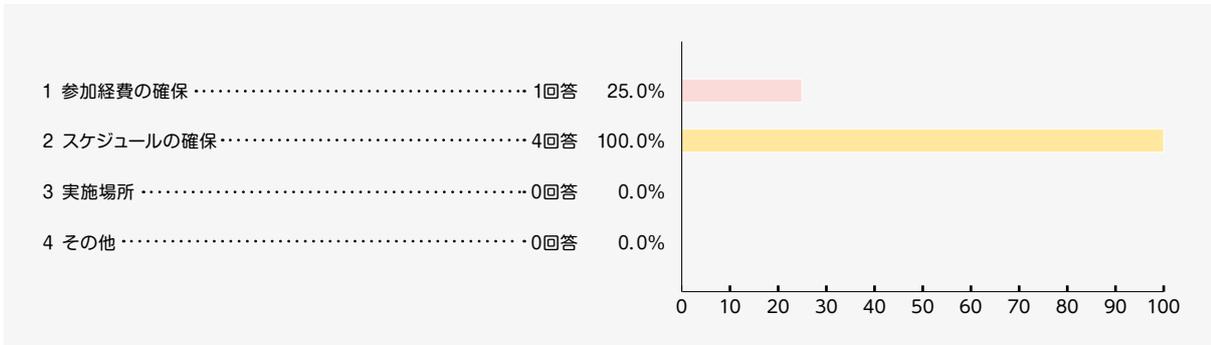
問11 ブラッシュアップ研修により、受講者の方との広域に渡るネットワークを構築することができたかについて当てはまるものを選択してください。

- 1: よくできた
- 2: できた
- 3: どちらともいえない
- 4: あまりできなかった
- 5: できなかった



【研修参加の課題】

問12 研修に参加する上で課題となったことは何ですか。(いくつでも可)



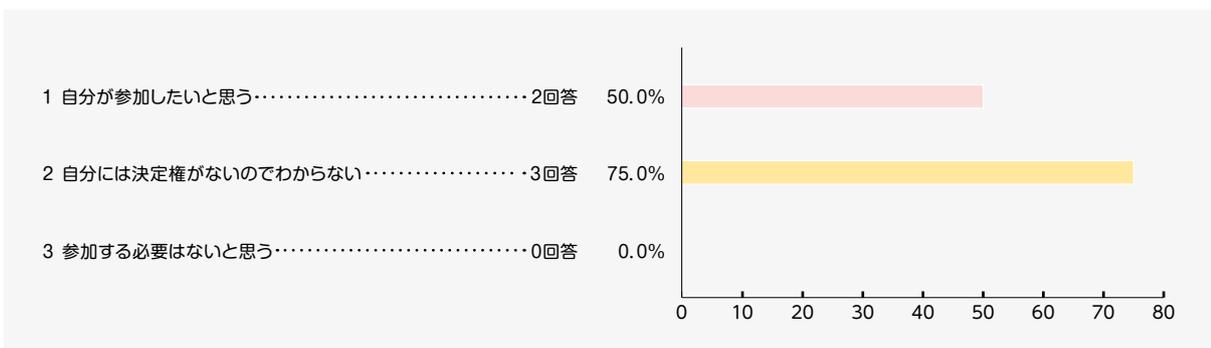
(理由・コメント)

(大阪会場)

- 1月はいろいろ忙しいから
- 年度末の業務調整が難しいため

【次回の参加希望】

問13 問12の課題が解決され、今年度の農業メンター実践研修会にご参加頂いた皆様向けに、発展した内容で農業メンターアドバンス研修が来年度実施された場合、参加したいと思いますか。お考えに当てはまるものを全て選択してください。



(理由・コメント)

(大阪会場)

1. 職場が決めるので
2. 2回目に見られるので…

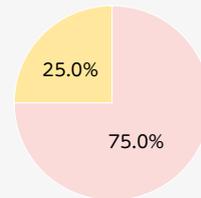
【事業継続と社会コスト投入の意義】

問14 本事業が今後も実施される場合の社会コスト投入の意義について、お考えに当てはまるものを選択してください。

Q14	回答数	割合(%)
1: 大いに意義を感じる	3	75.0
2: 意義を感じる	1	25.0
3: どちらともいえない	0	0.0
4: 意義をあまり感じない	0	0.0
5: 意義はない (これだけの社会コストを投入してまで実施する必要はない)	0	0.0

問14 本事業が今後も実施される場合の社会コスト投入の意義について、お考えに当てはまるものを選択してください。

- 1: 大いに意義を感じる
- 2: 意義を感じる
- 3: どちらともいえない
- 4: 意義をあまり感じない
- 5: 意義はない (これだけの社会コストを投入してまで実施する必要はない)



【波及効果の想定】

問15 みなさまが地域において、本研修で受講された内容を踏まえた今後の指導の実践等により創出される効果として、考えられるものがありましたら具体的にご記入ください。

(理由・コメント)

(東京会場)

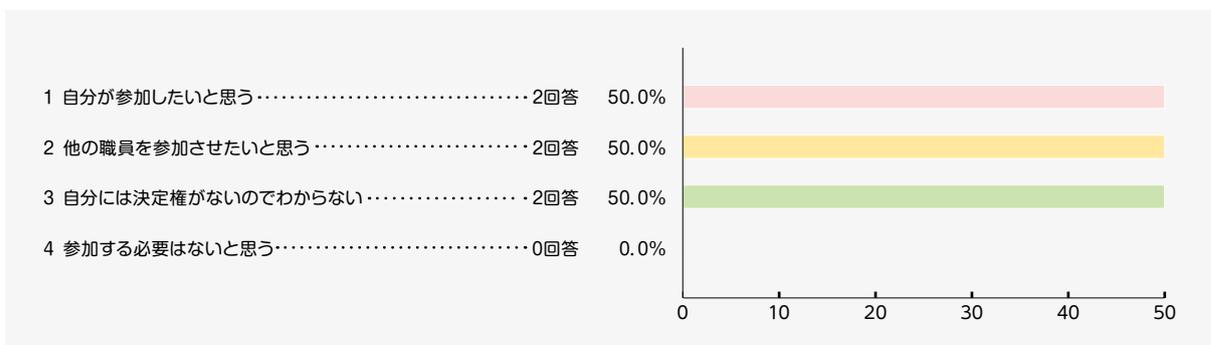
1. 今までと違った指導が可能になり、メンティの選択肢が増える

(大阪会場)

1. メンティの実情把握とそれに合わせた指導が出来そうである

【農業メンター実践研修会の都道府県単位での実施可能性】

問16 今後、このような研修を都道府県単位(都道府県主体: 単独の予算)で課題が解決されて実施できるとした場合、参加したい(参加させたい)と思いますか。お考えに当てはまるものを全て選択してください。



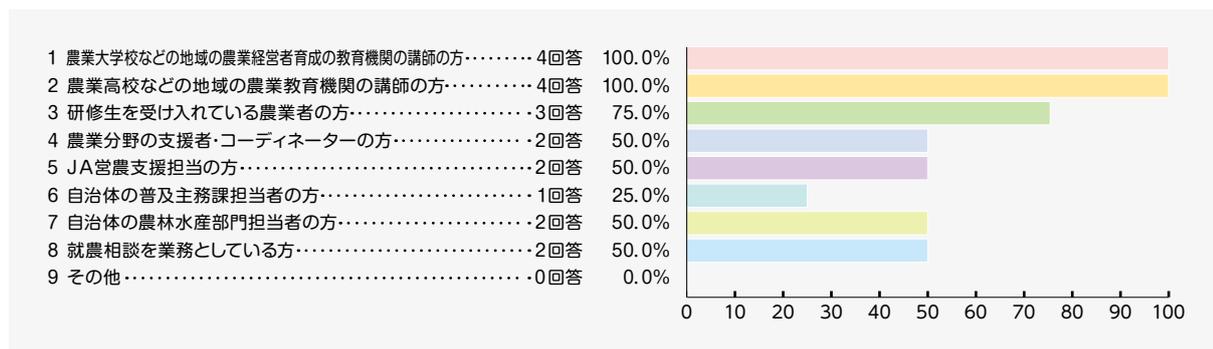
(理由・コメント)

(大阪会場)

1. なかなかない情報なので

【農業メンター実践研修会の参加想定】

問17 今回受講された研修の内容を踏まえ、農業のメンターとしての能力が養成され、指導を受ける新規就農希望者等の満足度・モチベーション向上、的確な指導の実施による地域の新規就農希望者等の就農率向上・担い手の増加、及び、農業経営力を備えた将来の地域農業のリーダーとなる人材の層の拡充が期待されてゆく中で、ご本人様以外に本研修を受講すべきだと思える人材について、お考えに当てはまるものを選択してください。(いくつでも可)



(理由・コメント)

(大阪会場)

1. 幅広い方に参加してもらいたい
2. 知っておくべきと思います

問18 1日間の研修へのご意見、研修内容へのご要望、ご感想などございましたら、ご記入ください。

(理由・コメント)

(大阪会場)

1. 参加者が少なかった分、内容が濃くてよかったです



農林水産省補助事業
平成 27 年度 新規就農・経営継承総合支援事業のうち
技術習得支援3 指導者向け研修 (2)
「農業メンター実践研修会」
(事業所管：農林水産省 経営局 就農・女性課)

本書の転載、複写・複製、電子媒体等への転用については、
下記に記しました実施主体へのご連絡をいただき、利活用の方法等を明示された後にご利用いただけます。

平成 28 年 (2016 年 3 月)
実施主体：株式会社パソナ農援隊
〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-4
TEL:03-6734-1260 (平日 9:00 ~ 17:30) E-Mail:agri@pasona-nouentai.jp
事業担当：コンサルティング事業部 担当：佐藤・政久